京城日報

本紙定價 壹ヶ月七拾五錢 ...
廣告料金 ...
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 ...

七月三十一日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇出兵問題結果 何れを擇ぶべき
飽迄自主的出兵外調會運命如何

政府側有力者は出兵問題に關し語つて曰く、米國より若し拒絕的回答ありたる場合は左の三者の中其の一を選擇するの外無かる可し
一、日本讓歩策＝即ち米國の回答通り浦鹽共同出兵の實行に止め政府の新案たる某沿線出兵提議を中止する事
二、自主的出兵＝即ち米國の回答如何に拘らず獨逸勢力東漸の防禦其の他の理由の下に西伯利出兵を斷行して政府本來の希望を充す事
三、內閣總辭職策＝米國の拒絕的回答は即ち現內閣の政策が內外に於て全く容れられざる結果に陷りたるを以て其責任を明にする事
右三者中現政府は讓步策及び總辭職の擧に出づる事無かる可く恐らく飽迄自主的出兵を斷行するならんと推せらる其の結果元老會議開かる可く外交調查委員會は決裂の非運に陷る可しと(東京特電)

◇獨逸新提議注目
伊國に發せらる＝占領地域に關し

米國上院議員ルイス氏は廿五日上院に於て「獨逸は一週間以內に露西亞に於ける行動に對し制肘を受けざる條件の下に伊太利、佛蘭西、アルサス、ロレーン二州、羅馬尼、塞爾維等の占領地域に關し注目す可き新提議を試む可く右提議は既に伊太利に向け發せられたり」と明言せり(紐育電報)

◇獨帝暗殺失敗說

獨逸新聞一通信員は獨帝及びヒンデンブルグ元帥を暗殺せんと企てたる者ありたるも失敗に歸せりとの說ある旨報じ來れり(紐育電報)

◇獨軍戰勢挽回策
獨軍逆襲攻擊續行中

佛軍司令部發表獨軍は今や其戰線を鞏固にしウルク河、リヴイルに至るタルノデア突出點の戰線に對して必死に逆襲を試み又西南方及び東方に對し攻擊續行中なり敵は之れに據りて更に突出點に足場を固め マル河の北に足場を得て勢ひを挽回せんとするもの、如し(巴里電報)

◇英紙對露政策

倫敦タイムス紙は其の社說に於て露國に對し此の際執る可き政策として左の趣旨を論述せり(倫敦電報)
一、歐露及び西伯利に於て過激政策の行はるゝ地方は今冬の慘狀豫想に難からず、聯合側は此の上干涉遲延するに於ては夫れだけ無辜の民を苦しむる所以なり
二、遲蒔ながら日本の出兵決せるルマン地方に對し英佛米が共同動作を決せるは幸ひなり

◇獨逸浦鹽破壞策

獨逸は浦鹽破壞の苦肉策を回らしつゝあり(哈爾賓電報)

◇獨墺活動命令文書奪取

ハバロフスク方面のチエック軍は獨墺軍より彼等が直接に伯林政府の命に依り活動しつゝありと言ふ確信す可き文書を奪へり(哈爾賓電報)

◇避難者何れも歸國

滿洲里を引揚げし內外人は何れも歸國せり(哈爾賓電報)

◇英議員總選擧期

英國議員總選擧は來る十一月執行さる可しとの說漸次濃厚となりつゝあり(倫敦電報)

◇政局急變か
陸相進退奈何

上原參謀總長の辭意動かす可からざるは事實にて同時に出兵問題當面の責任者たる大島陸相も武人の意地として總長と同一行動に出づ可きは疑ひ無きもの、如く之れより急轉直下政變を惹起し內閣の運命問題を招致するに至るやも知れずと噂さる(東京特電)

◇外調委員會期

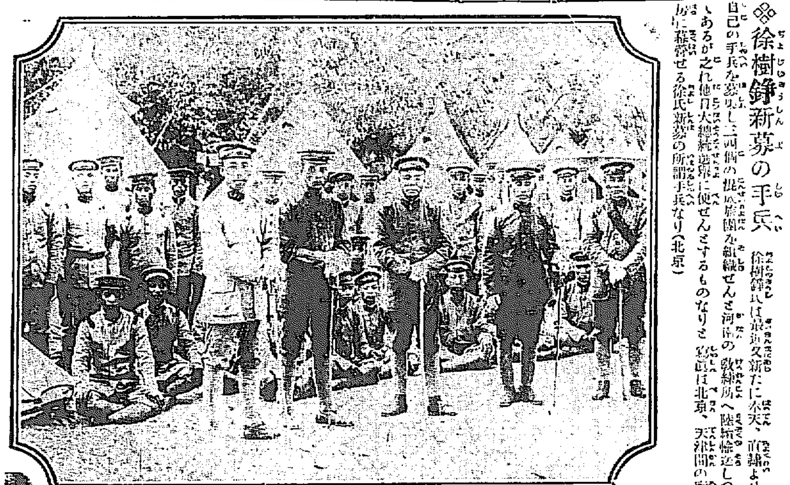
西伯利出兵問題に關する米國の回答も不日到着す可きを以て多分八月四日頃外交調查委員會を開會す可し(東京特電)

◇臨時產業調查課

農商務省臨時產業調查局內に主要食糧品調查を從事する臨時產業調查課新設され同時に同調查局第一部內の細率課は廢止されたり尚新設課の職員下の如し(東京特電)
臨時產業調查局事務官河合良成 副島仙八、立石信郎、原辰治▲技師飯岡清雄、伊藤禎造、月田藤三郎、乙島卯作

◇徐樹錚新募の手兵

徐樹錚氏は最近又新たに奉天、直隸より自己の手兵を募集し二兩個の混成旅團を組織せんと河南の敎練所へ陸續輸送しつゝあるが之れ他日大總統選擧に便せんとするものなりと寫眞は北京、天津間の廊坊に移駐せる徐氏新募の所謂手兵なり(北京)



◇陸軍尉官異動

陸軍尉官異動は三十一日官報にて發表さる可し(東京特電)

◇米狂騰と當局
强制讓渡困難

米價は益々狂騰しつゝあるが更に此の趨勢を持續せんか或ひは恐る可き一大社會問題を惹起するの虞あり農商務省の施設は依然末節に拘泥し今日に及んで食糧調查課を設置するに至りては全く時機遲れなりとて非難の聲高し當局に於ては十石以上の在米調查の上は公益上米の强制讓渡を爲し得る途を開く可しとの議あり未だ決定に至らざるも其實行は容易ならざる可しと(東京特電)

◇對支貿易將來

時局以來我對外貿易に於て最も發展の趨向あるものは英領植民地、蘭領印度及び支那方面にして就中對支貿易は其顯著なるものにして將來亦最も囑望すべきものなるが從つて戰後果して現下の狀勢を持續し得るやに就ては種々議論の存する所なるも而も支那の現狀に就き精細に觀察すれば決して悲觀すべきに非ざるが如し即ち支那貿易現下の隆盛の因つて來る所を闡明するに我國の事情と甚だ趣きを異にするものあり我國が時局以來企業の勃興に連れて

▲貿易も亦隆盛を來したるに反し支那現下の狀況は時局の影響により特に事業の勃興を招來したるに非ず而も我對支貿易の隆盛を致したる所以のものは從來歐洲列國より輸入したる物貨の杜絕より來りし當然の補充たるに過ぎざるが又開戰以來銀價の昂騰は彼等をして必然的需要以外の購買力を旺盛ならしめたる所謂經濟界の好景氣の然らしめたるもの亦其原因たり而して戰後に於ける我對支貿易の如何を觀察するに列强の現在に於ける疲弊困憊の狀態を以てしては如何に焦るも戰後競爭裡に於て好く直に我と競爭し得るや頗る疑問なるのみならず加ふるに船舶の不足及び運賃の高率は我の有利に歸し戰後當分彼等をして競爭場裡に於ける弱者たるを餘儀なからしむべくしかのみならず戰時中既に植付けられたる我對支貿易は今や相當基礎を固めたるものあるを以て一層競爭者をして

▲不利益の地位に立たしむるものと云ふべしされば我貿易當業者にして此後粗製濫造の弊を矯め益々斯業努力以て彼等の信用を失墜せざる事を期するに於ては現在の好況を維持する亦難きに非ず然らば戰後銀價の變動より來る貿易上の影響如何と云ふに是れ又決して憂ふべきものなし現時に於ける金の不足は戰後益々之が爭奪の傾向を生じ一般民間の抱き込主義となり補助銀貨の使用は益々盛んなるに至るべく從つて從來の昂騰相場を維持し得べく特殊の事情突發せざる限り先づ大なる變動なかるべし斯くの如くして銀價昂騰相場の繼續する限り當然對支輸出の盛況は持續するものと見て差支なかるべし又一面我國企業の勃興は此後支那より幾多原料品の供給を仰ぐの必要なる事勿論なれば以て我對支貿易の前途は益々有望なりと云ふべし(神戶稅關特調)(東京)

◇教員增俸決定

文部省にては一般官吏の增俸と共に帝大教授以下各教職員の增俸を行ふことに決定し來年度豫算に之れを計上す可く目下查定中なり(東京特電)

◇臨時船航行

日本郵船にては過般來歐洲航路に每月一隻又は二隻の臨時船を航行しつゝありしが夏枯れにて出貨減少の爲め八月に限り臨時船の航行を爲さゞる事に決定せりと(東京特電)

◎總監晚餐會

山縣政務總監は八月四日午後七時朝鮮ホテルに於て晚餐會を催し松川軍事參議官、立花、古海兩師團長、高橋司令官岡本旅團長、小出、竹內兩聯隊長を招待すべく總督府よりは各部局長官並に所屬長官及び軍司令部の主なる人々三十六名列席すべし

◎昌德宮午餐會

李王殿下には八月二日午後零時三十分仁政殿に午餐會を開き松川軍事參議官、立花古海兩師團長高橋司令官岡本旅團長の五將軍を招待すべし

◎敍勳

二十六日附左記諸氏に對し敍勳ありたり

敍勳四等授瑞寶章
正五位勳五等 藤波義貫
從五位勳五等 永井松次郎
同 有賀光豐
同 川崎槃太郎
同 久芳直介
同 黑澤明九郎
正四位勳六等 野坂直次
同 諏訪善太郎
同 芋川正義
敍勳五等授瑞寶章
從七位勳七等 池松時雄
敍勳六等授瑞寶章

◎軍事輸送會議了

大連滿鐵本社に開催されたる軍事輸送會議に列席せし鐵道局監理課長和田駿、京城管理局車輛課長佐藤三郎の兩氏は會議終了に付卅日夜大連發歸鮮の途に就ける由なる

◎殖銀募株總數

朝鮮殖產銀行株式募集狀況は同行設立事務所に到達したる申込書を整理精查したる結果確定應募株數二千五百六十七萬九十八株にして之を募集株數十三萬六千四百三株より優先募入八萬額四萬九千四百十一株を差引八萬六千九百九十二株に對する按分率を示せば一株に付き二百九十五株の八五七三となれり而して該按分割當方法に關しては目下協議中に屬し一兩日中其の決定を見るに至るべく募集株の地方別左の如し

東京	七、二二八、九七七
大阪	一六、二五四、三七一
其他	七六七、五三〇
朝鮮	一、三〇九、七八四
滿洲	一五八、八四七
總計	二五、七一九、五〇九
右の內優先申込株	四九、四一一
差引	二五、六七〇、〇九八

尚申込優先株五萬六千六百九十六株の內實際の應募株四萬九千四百十一株にして差引七千二百八十五株の棄權ありたり其の內譯如左
咸興八〇〇▲晉州一、四四三▲全州一、五二四▲光州六三二▲成鏡一、九〇五▲合計七、二八五

◎鮮銀券發行週報

七月二十一日より二十七日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は六千三百三十八萬一千四百五十四圓にして週末の發行高は六千四百四十八萬四千八百圓を示し漸次膨脹の有樣なり

◎讚岐酒造會社認可

慶北尙州郡蒲生加藤浩外六名より許可申請に係る讚岐酒造株式會社は七月二十四日附許可の指令ありたるが同社は資本金二萬五千圓にして酒類釀造販賣を目的とするものなりと

◎卒業生講習會

醫成所卒業生講習會 二十五日より向ふ一箇月間每日午前八時より京城中學校內に於て小學校教員養成所卒業生講習會を開會せり

◎鮮人女敎員講習

八月一日より向ふ二十日間の豫定を以て每日午前八時より京城女子高等普通學校內に於て朝鮮人女敎員講習會を開催すべきが講習員は二十五名なりと

◎鑛業登錄（七月廿二日附）

▲鑛業權設定
銀銅鉛亞鉛鑛 江原道淮陽郡 ...
砂金 同楊城郡 ...
[illegible]

◎二將軍告別

▲松川大將 松川軍事參議官は卅一日午前十一時登廳司令官室より應接室に市川參謀長磯潮經理部長以下文武官職員一同を召集軍司令官より軍事參議官に轉ぜし告別の挨拶あり右に對し市川參謀長より答辭を述べ後食堂に入り軍司令部の慣例たる一品料理にて幕僚送別の宴を催したり尚松川大將は卅一日限りにて登廳せざる由

▲立花中將 立花第四師團長は三十一日午前十時軍司令部訪問階下廣間にて市川少將以下軍職員一同に轉任告別の挨拶をなしたるが市川少將より送別の辭を述べたり又師團司令部にては同日午前職員一同に對し岡本少將小出大佐と共に告別式を擧行せり

▲古海中將 新任第十七師團長古海中將は三十一日午前中在京城各國領事館を訪問して告別の挨拶をなし同日正午憲兵隊司令部及び警務總監部の高等官以上全部を集め告別式を擧行せり

◎轉任將佐官發著

▲松川大將 五日午前八時五十分龍山驛發列車にて東上の途に就くべく六日下關にて宇都宮新司令官と會見事務の引繼ぎをなし直ちに東京に向ふ豫定なり

▲宇都宮中將 五日大阪出發六日朝下關著松川司令官との間に事務の引繼ぎを終り佐賀に歸省二泊の上來任すべきが釜山著は九日朝なるべく東萊若くば釜山にて後任の立花中將に軍務を申繼ぎ多分十日朝若くば十一日朝公式に入京すべしと

▲立花中將 立花第四師團長は八日午前八時四十分南大門驛發列車にて出發九日釜山若くば東萊にて宇都宮中將と會見の上赴任すべしと

▲東少將 新羅南旅團長東正彥少將は五日門司乘船赴任の旨市川參謀長に電報あり但し海路直に羅南に赴くか若くば京城を經由するか不明なれど多分入京すべしと

▲早川少將 三日午後一時平壤發午後七時二十五分著入京大觀亭に投宿の上五日朝京城發元山に出で日本海橫斷航路にて敦賀に渡り新任地富山に向ふ豫定なりと

▲井戶川少將 平壤旅團長に轉補せし井戶川少將は九日東京出發赴任の旨軍司令部に入電ありたり

▲內野少將 步兵第二十二旅團長より龍山步兵第四十旅團長に轉任せし陸軍少將內野辰次郎氏は三十一日午前九時十五分龍山驛着列車にて入京したるが停車場には立花第四師團長市川參謀長磯潮經理部長岡本少將その他文武官の出迎へ多く又富塚第七十九聯隊長の指揮する步兵一個聯隊は停車場より司令部に至る間に堵列して新旅團長を迎へたり尚同少將は同日午前十時二十分より旅團司令部に於て富塚聯隊長以下所屬將校の伺候を受けたり

▲岡本少將 未だ出發期確定せざるも多分十五六日頃となるべしと

▲白石大佐 步兵第七聯隊長より第十九師團參謀長に轉じたる白石通則大佐は七日午前九時十五分龍山驛發列車にて入京著任の事と也

▲小出竹內兩大佐 立花師團長と同行すべし

◎松川大將歸京

松川軍事參議官は于輪副官高橋大尉の兩氏を隨へ金剛山視察中のところ三十日夜歸任せり

◎松川大將張宴

新任軍事參議官松川敏胤大將は一日午後七時より朝鮮ホテルに留別の意味を以て山縣政務總監外官民各方面の有力者二百八十餘名を招待張宴すべし

◎古海中將設宴

新任第十七師團長古海中將は三十日午後七時より朝鮮ホテルに京城官民有力者多數を招待し留別の意味にて宴を張りたり

◎三將軍別宴

京城記者團の二十四名は榮轉して近く朝鮮を去る可き立花古海兩中將岡本少將の三氏を三十日夜千代本に招待して惜別の宴を張りたるが記者團を代表して牧山氏の挨拶に次いで立花中將の席上挨拶ありて十一時散會せり

◎愛媛縣人會

京城愛媛縣人會にては川上常郎大久保雅彥矢野義二郎三氏の發起にて八月一日午後七時花月に於て今回第十七師團長に榮轉せる同縣人古海陸軍中將の送別を兼ね縣人會開會の筈なる會費は三圓五十錢なりと

人事消息

▲藤忍氏(兵庫縣警察部長) 三十一日午前入京巴城館へ
▲高田信一氏(平北道技師) 同上
▲矢川求馬氏(川崎造船所技師) 三十一日午前入京京城ホテルへ
▲武藤三枝氏(品川煉瓦會社技師) 同上
▲三浦周行氏(京都帝大文科敎授文學博士) 三十一日午前入京龍山へ
▲吉田勝次郎氏(大日本麥酒京城出張所長) 三十日釜山へ出張
▲尹澤榮侯、尹德榮子、韓昌洙男、趙重應男 三十日午後龍王寺より歸京
▲武內適氏(江原道技師) 三十一日朝入京浦尾へ
▲新井又一氏(王子製紙重役) 同上
▲太田隆吉氏(大連三井物產社員) 三十日夜入京同上
▲神林敬太郎氏(東京鋼業家) 同上
▲山本京大敎授 三十一日退京
▲久保田積識氏(鮮銀哈爾賓支店長) 三十一日朝入京不知火へ
▲荒木武雄氏 京都高等蠶業學校敎授朝鮮各地視察の爲め入京龍山太陽館へ

茶前酒後

却々暑くなつたが朝夕が涼しいので其れ丈け朝鮮の夏は暮し安い▲が京城の市中には蚊の居る處と居ない處がある蚊の存否は全く不潔から來るのでもないらしい其の適確な原因を調べて貰ひたい▲蚊と云へば上海の一英字新聞に蚊避けの方法が載つて居る▲其れは蚊帳の中へ蚊が這入つて來られぬ時は一日位穿き古した靴下を一足は外に一足は內に入れて置くと好い▲而したら蚊が皆それに吸ひ付いて安眠が出來るとある但し功能は保障の限りでないが物も試しだ▲過般チエック軍が過激派軍を破つたスパスカヤの近くに興凱湖と云ふ淡水湖がある▲此湖水に昔から非常に澤山な魚族が生棲して居る事は有名なものだ▲無論住んで之等の魚族を漁る者もないから思ふ樣成長して居るとのこと▲時偶馬などが水を飮まうとすると目の下三尺もあらうと云ふ化物見たいなのが突然馬の鼻面へ飛び付くので▲馬の方で吃驚顚倒を遣す事があるとは此頃同地方から歸つて來た人の噓の樣な實話▲活動寫眞の撮影は內地でも相も變らず却々盛であるが度々飛んだ喜劇をやる▲此の間中央線長野行の列車が新宿東中野間に差し蒐つた折突然橫合から一人の惡漢と刑事が飛び出し線路上でチヤンチヤンバラバラ大格鬪を始めた▲驚いたのは機關士周章て列車を停め扨てはと見ると惡漢も刑事も某活動寫眞會社の俳優▲驀進する列車を背景にフイルムへ入れようとする始末と判り▲機關士が立腹して鐵道規則違反と詰めかけると▲恐れ入つた兩人懷中から金五十圓を取り出し「ヘイ最う罰金も持つて來ました」には流石に機關士も開いた口が閉がらなかつたとさ

今般榮轉相成候松川軍事參議官立花古海兩師團長高橋司令官岡本旅團長小出竹內兩聯隊長各位の爲來る八月三日午後七時より朝鮮ホテルに於て送別會相催度候間何卒御贊同被下度尚御出席の向は來る二日正午迄總督府總務課(電話構內一一番)京城府廳(電話六六六番)軍司令部(電話龍山二三三番)又は朝鮮ホテル內へ御申込被下度此段得貴意候
追而會費金四圓當日御持參の事
大正七年七月二十九日
發起人一同

◎電話架設 長距離一九二〇番
京城本町四丁目 徵兵保險株式會社京城出張所

金持になる近道は外にない、廿圓の資本で安全確實に儲かる株式投資法說明書申込次第送る
內外諸公債株式 債券現物問屋 東京市芝區愛宕町二ノ一四 電話芝三九九六番 振替東京四〇二〇番 葵屋商店

川北製モートル 各馬力在庫
各電氣會社に納入し常に絕大の好成績と數量の夥多なることは質に冠たり
株式會社川北電氣企業社（大阪本社資本金參百萬圓） 小倉出張所 九州小倉市鳥町電話六八

古屋鐵石著 新案 神經衰弱獨療法 郵稅共貳拾錢
藥物金不要實行容易 効能顯著重症…
東京芝區琴平町三 精神研究會

營業品目
冬物荷揃
蒲團 겹침 布團地 겹친감
綿布 면포 製綿 솜
蚊帳 모긔장 麻布 모시
大阪東區安土町三丁目 山本佐七商店

木材防腐防蟲劑 專賣特許 クームヒン
塵芥箱下水板家畜小屋等に塗布する時は木質の保存のみならず蠅及蚊其他の昆蟲を撲滅し其來襲を絕無ならしめ消毒殺菌の…
定價 一瓶入二十八錢 …
市內到る所の藥店にあり
京城旭町一丁目電話一〇七八 龍山元町一丁目電話四二四番 山田商店

表開
[illegible]
大正七年七月一日改正現行

今蟬時雨—三十日午後清涼里にて撮影

◎河内爆沈原因怪し
藤山査問會主理の德山急行

河内艦爆沈原因査問會は目下審議行なるが二十六日藤山主理は特別任務を帶びて德山に向ひたるが更に磯香外三名は二十八日德山に出張警察の應援を得て何事か精査中なり聽く處に依れば爆沈の原因に就き何等か疑問を認めたるならんこ(吳電報)

◎白米騰る
京城の小賣相場卅四錢となる

京城に於ける白米小賣相場は三十一日又復五厘値上を斷行し上等一升三十四錢稱へこなれり

◎二瀨炭坑出火
損害莫大なり

廿七日八幡製鐵所二瀨炭坑の第二坑に出火ありしが損害莫大なるも死傷者無し(門司電報)

◎永和丸の損害
約六十萬圓の見込

全南莞島沖にて沈沒したる神戸岩田商會所有汽船永和丸(七百二十八噸)は其の損害六十萬圓の見込みなりこ

◎内野新任旅團長の龍山入り
立花將軍以下各將校の出迎

歩兵第二十二旅團長より龍山の歩兵第四十旅團長に轉任した陸軍少將内野辰次郎氏は三十一日午前九時十五分

◆龍山驛 著列車にて公式に入京した停車場には師團側より立花中將岡本少將その他軍司令部より市川少將廣瀨主計監以下百餘名の將校の出迎へがあり將軍は副官こ共に司令部差廻の馬車に搭乘騎兵一分隊の

◆儀仗にて 順路を旅團司令部に向つたが路側には高塚第七十九聯隊長の指揮する歩兵第一第三大隊の全部が堵列し將軍の過ぐる所喨々たる喇叭の音こ『氣を附け』『頭右』の聲が起り沿道將軍の威風を見こする群衆も多かつたるものならんこ

◎愈高速飛行練習
各務ヶ原飛行場に於て開始
岡大尉武田中尉の操縱振り

各務ヶ原にては俄に豫定を變更し廿九日午前六時より高速練習飛行を開始したり此日天氣清朗碧空爽かに澄み一點の雲なき絶好の

◆飛行日和 なり扨て岡大尉は先づスタンダード機に搭乘し岐阜犬山に亘る一帶の氣流調査を爲し終るや直ちに練習將校小澤中尉を同乘して各務ヶ原より岐阜の上空を二十分餘縱横に飛翔し金華山の西方を掠め場の西端に飛來したるが之れこ同時に教官武田中尉はソッピース機を操縱して同じく

◆岐阜聯隊 の上空を訪問せり次でスタンダード機は岡大尉操縱して寺本、瀧川、長淵、有田の中尉交々同乘し二十分乃至三十分餘殆んご縱横に猛烈なる練習を行ひ又武田中尉の操縱せるソッピース機にはスパット機の教官長尾中尉搭乘し長尾中尉及び隊長

◆草刈少佐 續いて同乘岡大尉の操縱せるカーキ色のスタンダード機こ入亂れて爽かなる紺碧の空に雪の如き雙翼を翻しつ、爽快なる上空飛行を爲し九時十分無事午前の練習飛行を終了し午後四時より引續き再び練習飛行を行ひたるが隊長草刈少佐は曰く今日から十六日迄を練習第一期十六日から八月三十一日迄を

◆第二期に 分ち第一期中には岡、武田兩教官に就てスタンダードソッピース兩機の操縱法を練習將校に實習させ第二期には續いてニユーポールスペットの順序で教へて行く積りであるスタンダードの稽古は四五日位で充分であるから不日ソッピースを更に三四臺所澤から取寄せて之に依つて各練習生の實地

◆操縱練習 に充てしむる考へである今日の飛行ではソッピースは約一千米突を昇騰するに僅に四五分しかゝらなかつた之は偵察用こして第一等である

◇聖上御親祭
三十日の明治天皇祭

三十日は明治天皇第七年の御例祭に就き宮中皇靈殿にて午前九時嚴かなる御祭典行はせられ各宮殿下初め大勳位親任官各大臣等參列陛下には御束帶にて出御御告文を奏せられたり(東京特電)

◎佛像中より經本出づ
慶北古刹の釋迦像より發見

慶北榮州郡に在る古刹浮石寺は目下保存工事中なるが去る二十二日同工事の監督たる技手木子智隆氏は同寺無量壽殿内に安置しある釋迦尊像三體の腹中に經本の藏置しあるを發見し同寺の住職姜巖海立會の上取り出したるが全部四十八冊にして中妙法蓮華經卷の一、二合本一冊ありその他の四十七冊中には刷上げたるまゝにして未製本のもの多數ありしこ(大邱)

◎仁川へ○萬斤の火藥陸揚げさる
夫を腫物に觸るやうにして
荷卸しの上某方面へ輸送す

二十九日夜仁川に入港した高砂丸は某所より約○萬斤の火藥を積載して小月尾島沖遙かの沖合に投錨した下の關の

◆爆發の 慘事がまだ餘燼を燻めぬ事こて相應に社會の注目を引く三十日揚陸して某方面へ移送すべかりしに潮の加減で間に合はず本船から荷卸した火藥は二隻の艀船に積まれたまゝ沖の波間に一夜を明かし三十一日午前滿潮に乘じて荒荷置場の艀腹に荷著けされた、前車の覆へるに鑑みてか流石に

◆取扱ひ 最も嚴重腫物にでも觸る樣に監督者は艀腹を拜いで上る鮮人の足並に氣を配る將かに岸に上げて怖る怖る貨車の戶口に持ち込んだ人夫でさへ初めて安心の面持ちにホット一息の態四周に遂人こなく立つ監督者は人夫の足並を見て少しでも急く氣味になるこ直カマニを要求する歸りの

◆空荷は 早く早くこ叱付りくる等は餘程勝手なものであるが斯て凡そ貨車四臺最も警戒嚴重なる裡に積込みを了した軍用火藥は三十一日午後直ちに仁川から某所へ發送されたのは時節柄注意を惹いて居る

◎畫家餓死す

露國古典派の大家 露國古典派の畫家レビン氏は芬蘭の故會ゼウクオッカラにて餓死せり(倫敦電報)

◇内野第四十旅團長著任(三十一日朝龍山驛にて)

◎前科五犯の泥棒役者
進行中の列車より飛ぶ
壽座興行中のさざなみ會を脱走せる不敵なる馬の脚

京城壽座にて七月初めより興行中のさゞなみ會一行に加はりゐたる下關市新地町生れ前科五犯の廣中周次事播田菁吉(三二)は一行を脫會し平壤に赴かんこ七月二十三日

△龍山驛に 至れるも旅費金なく個々驛の構内に陸軍技手某氏が立て掛けありし自轉車一臺(八十圓)を窃取して一山驛に乘逃し件の自轉車を賣却せんこするも買手かなく徘徊中を京城分隊一山駐在所の憲兵に怪しまれしより汽車にて乘り逃げせんこ企て同驛の

△助役に 對し巧に嘘を吐きて平壤迄乘車賃先拂ひの承諾を受けて汽車に乘り込みたるも憲兵が尾行し居るより金村驛にて列車の便所窓より飛び降り逃亡中を遂に憲兵に逮捕され取調べの結果同人は昨年十一月中下關の遊廓より情婦の許に行途中氏名不詳三名の

△醉漢が 突然物陰より同人に打つて蒐りしより之を防禦せんこし携へ居た銳利なる剃刀にて一名の下顎骨より眼窩部に斬りつけて重傷を負はせ夜陰に乘じて逃亡せしも其の後官憲に於て犯人の搜索嚴重なる爲め恐ろしくなりて居耐らず本年三月二十六日夜下關發の汽船にて大連に直航し夫より前記の

△連會に 加はりて滿鮮各地を巡業の上京城に乘り込みたる旨白狀し身柄は京城地方法院檢事局へ送られたり

◎京釜線又不通
直ちに開通す

三十日午後七時三十分京釜線鳥致院全義間は鳥川氾濫のため線路又復不通こなりしも鐵道當局にて復舊に努力せし結果同夜十一時開通せり依つて三十日午後七時五十分南大門驛發列車は鳥致院を一時間十二分延發したりこ

◎生活難から自殺
家主より立退きを逼られた理髮職人

京城西大門町一丁目百五十九番地理髮職李相淳(三〇)は三十日午前六時半頃自宅に於てホルマリン約百瓦を服用して自殺を遂げたり同人は家計不如意にて收入も尠く屢々家賃數箇月分滯り家主より嚴重なる催促を受け二箇月前立退きを要求されしも引越行くべき家もなく世を悲觀したる末此の始末に及びたるものならんこ

◎九州暴風雨
水田被害多し

二十六日高潮佐賀縣下の三郡を襲ひ被害水田數百歩に達せるが瀬戸内海も亦大荒れを爲せり(門司電報)

◎前市長夫人喚召

京都瀆職事件に就き前市長大野氏夫人さし子は二十六日京都檢事局の召喚を受け取調べられたり(京都電報)

◎嫁姑に苛まれて毒汁を仰ぐ
夫も共に虐待する

高陽郡漢芝面東氷庫里廊九滿妻李點順(二七)は常に夫及び姑こ折合惡く二十九日午後一時頃又も夫允滿こ口論を初め其の果て苦鹽三合ばかりを仰ぎて自殺を遂げたり

◎撞球の名手來る
日勝亭の中村千吉君

東京日勝亭に籍を置き同亭の鈴木及び森、友石等こ共に日本に於ける代表的の撞球選手中村千吉氏(千五百點)は滿洲よりの歸途一兩日前來京大和町二丁目日勝亭出張所に滯在中なるが同氏は普通選手の有する斯道の妙技の外に氏自身の案出にかゝる球の取り方並びに曲球等に獨特の技倆を有し近く何れかに於いてその冴ゑたる撞球を試むるべく然して有志の需めにより一般に公開すること、なるべし

◎新聞押收

七月二十九日又は三十日發行の東京及び大阪の各新聞中外交に關する記事を掲載したる日本電報通信、萬朝報、都、東京電報通信、國民新聞、報知、やまこ、東京日々、大阪朝日、時事、ジャパン、アドバータイザー等は各押收されたり

◎成歡役追弔法會
松崎大尉等戰死者のために成歡にて

七月二十九日は日清戰爭成歡役の當日にして又故松崎大尉及び日本兵士の戰死せる日なるを以て成歡戰蹟保存會にては同日午後一時より成歡小學校内に於て成歡役戰死者の追悼法會を營みたり忠南道長官代理書記官、天安郡守、憲兵分隊長、成歡戰蹟保存會長、成歡小學校職員、生徒、其他多數の參列者ありて盛會なりき

△小町長洲、…在中の大年醫師…何んでも此の頃盛んに天地人身體意法…方力を以てあらゆる疾患の治療に從事してゐる…は患者を前にして默禱すること暫しかに如意を揮つて一喝するのだがこれが五六回繼續するこ什麼病氣でも忘れたやうにケロリと癒つて仕舞ふ相だ△現に黄金町四丁目の山原武次(六つ)こ云ふ子供は脊髓病で手足の伸縮不自由だつたのが坊さんの施術で癒つたそのこと眞疑は保證の限りにあらずだが若し癒つたさすれば精神作用であらうこ云ふ人がゐる

◎漢江に美人
全身腐爛せる娼妓體の婦人

廿八日午前九時頃高陽郡東部下流楊花津渡船場の漢江中に溺死體浮流し居るを京城分隊東部駐在所の憲兵が發見し死體を引揚げ取調べしに死後數日間經過し居れるが如き内地婦人にて外傷なく覺悟の入水自殺を遂げしもの、如く銘仙の堅縞單衣を著し居り所持金九錢あるも毛髮等脫け落ちて全身腐爛し人相判らず著衣より見るに娼妓か酌婦の如きも身元不明引取人なき爲め同里の共同墓地に埋葬せしが多分京龍あたりの者ならんこ

◎迎、歸、上陸客

二十六日午前釜山入港高麗丸二等客 … 二十[illegible]

鹿島、鎌田永太郎、古谷作輔、同道、白井勝治、加藤常太郎、足立知治、福山小三郎、田佐平、安盛與三、安齋貞之助 … 三等(二百八十一名)

二十八日午後十二時釜山入港對馬丸二等 … 三、野、尚一、[illegible]、狩谷忠、廣川高仁、中辻信、村上市郎 三等(八十九名)

二十九日午前釜山入港 … 堀井よしゑ、植木義雄、膝久卯三郎、許竇、李樹鐸、野田菊、森安雅子、村上丈夫、岡田邦子、吉田銀太、同さしゑ、奈良子、同もゑ、石本健吉、渡邊岩造、森賀治太郎、萬太郎、渡邊三郎、伊井岩吉、三上とよ、同ゆき 三等(百二十六名)

… 田口鼎、定岡かな、皆川重治、島羽てい、同敏子、金森ます、佐藤勝之助、倉田龜太郎、中村、[illegible] 客

三十日午後釜山入港對馬丸二等 …

商況

東京期米特電
未著

兵庫期米特電
停止

大阪期米特電
停止

大阪三品特電
未著

下關期米特電

七月限	…
八月限	…
九月限	…
十月限	…
十一月限	…
十二月限	三五九〇〇

雜報
未著

	當限	中限	先限
寄付	三〇〇	三〇〇	元六五
高値	三〇〇	三一〇	元四〇
安値	三〇〇	三一〇	元六五
止め	三〇	…	元三

◉正米更に高調

人氣沸騰突飛の高値を現はせし朝鮮正米は益々高値模樣を呈し今朝は日本値二十七圓八十五錢在來値二十七圓二十四錢外品二十六圓五十五錢(昨日來)更に三十錢高の氣配を告げた釜

山仁川筋の買付

商談は總々兩市へ約一萬叺の賣買成立を報ぜり

人氣の消長に影響

する處少なからざるべく又當然の成行なるべしと…

◉梅干暴騰す

古品の殘存相當にある本年の生梅は一般出來不作又は出來高少に加へ各產地は仕入れに… 錢乃至三圓方騰貴し目下九州物にて十七圓五十錢より十八圓を唱へらるゝに至れり

◉干瓢跳返す

又暴落…は一時十七圓臺に入りたるに…

約五六圓方を跳返

せり目下錢相場は…十三圓前後と二十九圓唱なり

◉小賣白米値上

昨三十日一錢方を引上げ…

◉籾買進み亂調

籾は玄米の高値に連れ各種籾屋より値段に拘はらず買進み多く出來高も此兩三日來に約九千俵に上れり見當は神力七圓七十錢在來種七圓四十錢なるが出來値は普通には此間二圓内外にて…

◉糯は依然品薄

糯は相場高に連れ…

五十錢方引締

引締めたる氣配次第に

…

◉小麥買進む

…前報後約五十錢方引締めた

千錢の反

昨日又一層氣配六七…

各地商況

▲大邱米況(二十九日)

▲正米(保合)内地米は午後四時に至るも…

▲鎭南浦(二十九日)

…

釜山物產市場 廿九日

▲玄米二十錢下落 …

▲玄米上	二十八圓十錢
▲同 中	二十八圓六十錢
▲同 下	二十八圓

南大門廻穀

…

◉北海澱粉新物

北海澱粉は本年の收穫高昨年の約五割增しとの豫想せられ…

本年度生產

…

高の激增

…

◉白米氣締る

白米市中… 五十錢方の特…

◉支那粟反撥

…

漸く買氣萌す

…

◉小賣白米値上

更に高値に進む形勢

…

明一日より三十四錢賣を實行す

下關相場

▲朝鮮米は強保合 過日來品…

▲小豆は依然小盛し…

▲大豆は堅調…

▲肥料の現況 …

仁川正米

▲模の入荷少なし

▲正米は其後又復暴騰し…

は二十八圓五十錢見當

生魚市場

…

仁川期米

三十一日前場(更に爆騰)

物輻輳し前に新規に買

期米更に暴騰

今納會は遂に二十圓六十錢より六圓三十五錢と大爆發

騰と東京下の關の正米の暴騰

◉新甫内氣配

…

市場雜觀

七八十錢下鞘を唱へ…

◎期米先限更に暴騰

先限の二十五圓二十錢 …

多く更に二十五錢と新高直に奔騰

丁度と瓦落し大變動裡に依然強硬の成行

賣物多く六圓

三十五錢と遂に六圓三十五錢と新高値を出現

五錢切の急反撥

屍累々慘憺たる光景

▲後場例休

仁川米豆取引所仲買人
田中金兵衛商店
仁川海岸町

仁川米豆取引所仲買人
大倉重謙
電話…

仁川米豆取引所仲買人
今村覺次郎
電話…

仁川取引所

卅一日の九月限

	寄付	前場
七月限	…	…
八月限	…	…
九月限	…	…

市場雜觀

白米標準値

三十三圓

白米小賣値

一明一日より

一等白米	三十四錢
二等白米	三十三錢五

晴一時曇

(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)

[illegible]三郎、同やす子、關あい、北村富士雄、大[illegible]西尾吉郎、松山成三[illegible]田雅雄、鶴川岡八郎、星野爲藏、木村[illegible]

◎北支那古代 文化の跡 床しき古美術

工學博士 關野貞氏談

(四)

◇達磨の遺骸◇

此少林寺は臨濟宗の大伽藍であつたが今は見る陰もなく衰微して建物も非常に荒廢してゐます其の中でも鐘樓は元の大德年間の建築で寺から十町許りも奥の

■**達磨** の住んだと云ふ初祖庵の本殿は宋の宣和年間の建築で石で造つた柱の跡があります特に初祖庵の內部の石柱には仁王や龍などを浮彫にした見事のものであります一體日本では木造建築には千年以前の物も隨分遺つてゐますが

◇◇支那では古い木造◇◇

建築は皆亡びて私の調査の範圍では正確な者としては之れが最古の木造建築であります次に寺の境內に多數の唐宋以後の石碑がありますが其の中でも唐太宗敎書の碑が最も優秀であります唐の

◆**太宗** の御筆の敎書を玄宗の時に石碑を立てこれに刻したので世民の二字が草書で書いてあるのも特に人の目を惹きます碑の頭には龍の彫刻があり側面には優美な寶相花の紋樣があり臺石の四面にも動物や唐草の紋樣が彫つけてあつて實に

◇◇類ひ稀なる立派な◇◇

石碑であります此他に魏時代の三尊佛北齊時代の造像等何れも精巧にして而も少しの破損もなく完全に傳へられたのは他にあまり例が無い樣ですそれから京漢鐵道で石家莊まで引返し正太鐵道の終點太原縣に至りそこから南卅丁里なる

◆**太原** 縣城に行きました此の縣城が所謂昔の晋陽城であります此の太原縣城より南一里に晋祠と稱する名所がございます晋祠とは昔周の成王が此の晋陽に封じた唐叔虞(成王の弟)を祀つてある廟で其の境內に

◇◇有名な淸泉が湧き◇◇

出してゐます其の透き徹る樣な淸い水は最も甚だ豐富で下流は晋水となり方四十里の地を灌漑して居ります境內には此の淸流を挾んで千年の古栢老樹鬱々として夏猶ほ寒い位です春秋戰國時代に智伯が晋陽の城を

◆**水攻** にしたのも此の水を利用したのです宋の太祖が五代の北漢を亡ぼした時も同樣の手段を取りました又唐の太宗が始めて旗擧げした時も此の境內で戰勝を祈りました天下統一の後

◇◇太宗が撰書の碑を◇◇

立てましたが此の碑は今でも遺つてゐます此晋祠から更に南に二十五里程なる天龍山の上に今聖壽寺と云ふ寺がありますが寺から三四百尺嶮峻なる巖山を攀上ると

◆**北齊** 及び唐時代の石窟がありますこの石窟は從來未だ學界に知られざりし者にて實に珍らしき發見であつたのであります山は東西兩峰に別れ

◇◇石窟が砂岩石から◇◇

出來て居る斷崖に多數作られて居ります其の中でも重要な者は東西各七處宛で北齊時代に作られた者はよく當時代の手法を示し唐時代の者は盛な初唐の手法をあらはしてゐます

◎露國と南滿洲 二昔の夢

(承前) 細川砲兵少佐調査

北京條約の要旨は『露滿兩國は旅順港を以て純然たる軍港となし唯露滿兩國の艦船に限り之を使用し得る事に同意すべく他國の艦船の爲には閉鎖すべきものとす大連灣に關しては旅順港と等しく獨り露支軍艦の爲に指定せられたる港灣の內一部を除き他は外國貿易の爲め之を開放し各國艦船の出入を許すべきものとす』と該條約の調印を終るや『今後大連港は

◇外國貿易の爲開放◇

せられ各締盟列國の船舶は自由に出入し得べし』との通牒を發せられ尙該通牒と同時に同年五月十七日附官報に依り左の宣言を附加頒布せり『大連灣を各國商船の爲めに開放するは露淸兩國間の友誼的契約により世界大陸の兩極を連絡すべき西伯利亞鐵道の建設により受くべき各國の產業貿易の爲め新なる一大中心を創設し福利を均等に頒つものなり』と尙同年四月二十五日北京條約に對する追加議書の第三項に依り露國は『西伯利亞幹線と遼東半島とを連絡すべき

◇最終點は旅順口及◇

大連港とし決して他の地點ならざること』に同意をなせり斯くの如くにして大連灣を商港となし旅順口を軍港となすの議に決し築港

◎人の目を著ぬ 忠淸北部の寶庫

(承前) 仁川の商圈に有作ら前記の如く仁川の沿岸貿易中最高位にある忠南の取引先は如何なる狀態にあるか現今の交通運輸と將來の變化をも考へるの必要がある先づ現在に於ては此の忠南西北部へ向つて供給する日用雜貨は仁川仙掌間の往航に依つて殆んど

毎日滿載の盛況

を示して居るが復航には秋から春に亘る所謂出穀季には三隻の汽船も足らぬ程忠南米の積出があるが夏枯れの時期に於ても尙德山から出る多數の松丸太や汚川に採掘する礦石の類も尠からぬ積荷を持つて居る仙掌行の發動汽船は途中沿岸の漢津富里浦に寄港し漢津よりは槐池市唐津德山等に通じ

富里浦から主として汚川大川及び德山にも交通するのである而して仙掌から新禮院を經て禮山洪州或ひは溫陽大興に通じ一方牙山溫泉里方面へも盛んに商圈を擴大しつゝある此の間は總て牛車に依るもので仙掌には約四十臺の牛車があつて往復共に多大の荷物を運搬して居る殊に汚川から富里浦に達する區間は將來の出礦に便する爲め

軌道を敷設する

計畫があるとの事であるから仁川の得意先としては最も囑目するに足るものがあるに相違ない而も忠南の地方農民は近時非常に裕福になつて居る其の購買力の如き又著しく增大して居るのは事實で禮山に於ける附近農民の貯金高が十數萬圓に昇つて居ると云ふ事も一小寒村としては珍らしい裕福さを推する事が出來る唯茲に最も注意を要すべきは所謂湖南を貫通する朝鮮輕鐵の延長で現在の豫定線路が完成したる場合

從來の商勢一變

して過半は此の輕鐵に奪はるゝ事なきや否やの懸念がある然し乍ら運賃其他の採算をすれば尙ほ海上の運賃は比較的低廉にあつて輕鐵が營利會社として相當の利益を納むるには此の運賃以上の率を採らざるべからざるの事情があるから決して商圈の變異を生ずる事はあるまいと樂觀されて居る果して如何に推移するかは時に應ずるもので將來商人の努力に依るものであるも

有望なる得意先

に更に此の上商勢を擴張すると否とは一に仁川商人の覺悟にあるものと云はねばならぬ(完)

戰塵

俘虜軍の侵入

目下セ軍本陣は露支國境と滿洲里との中間滿洲里より約一里の西方なるセミヨノフ村に在り而して、獨逸俘虜軍は既に國境附近を占領し最近の戰鬪の際其の右翼軍の一部は國境內に侵入し來りしも支那軍は抵抗せずして退却したり敵軍の兵數は一萬二千名と稱せられ內獨逸人六千名マヂャール三千五百名三十門の野砲を有せりと(哈爾賓)

怪しき現象

嘗て獨逸兵に蟠踞はれたるチャンダンチンスカヤ哥薩克兵村附近に於いて最近獨逸人の移動に就き怪しむべき現象あり、蓋し目下獨逸軍は一大迂回を爲し滿洲里の後方に迫るべく、既にマルグンに移動を開始せりとの說あり、此の報道滿洲里に達するや同地方の人心は一大恐慌を來し居れるが同地に風說せらるゝ處に依れば過激派軍の軍使はマチエフスカヤ附近のセ軍陣地に到りセ軍の武裝解除を要求したりと(哈爾賓)

獨墺軍の動靜

目下滿洲里は多少平靜に歸したる感あり、蓋し獨墺軍は若しセ軍にして國境より撤退せんか、彼等は支那軍と交戰することを避け滿洲里の包圍を解くべしとの形勢見ゆるに依ると、尙ほ最近の戰鬪に於いて獨逸人は五百名以上の死傷者を出したりとの說ありと露紙は報ぜり(哈爾賓)

共同出兵と吉林

最近に郭吉林省長の東支鐵道督辨と爲るや吉林より混成二個旅團を沿線守備に派し陶第三旅長之れが總司令として哈爾賓に駐在し以て今日に至れるものなるが今回列國の西伯利に對する出兵と共に事實上日支共同出兵に據らざる可からず北京政府よりは既に奉天黑龍兩省と共同動作の內命を受け居れるが吉林省は現在の派遣兵數にて更に增遣の要なかる可きも種々打合せ等の要件あり第四混成旅長兼扶農鎭守使にて東支鐵道守備の副司令たる陸軍少將高士濱は此程哈爾賓より吉林に來り孟督軍と重要事項協議中なりといふ本般は顧問齋藤中佐該鐵道守備情況を視察して歸るあり吉林軍は右翼に就くものゝ如く遺算なきを期せん爲めなりとか高士濱氏は曩に滿洲里に赴き露支國境の軍情を審に視察したる上轉じて浦鹽方面にも同樣の旅行をなし其の現狀を目睹し來れる人なり(吉林)

セ軍の大敗と北滿國境の防備

セミヨノフ軍の大敗により滿洲里の混亂極度に達し婦女子は全部海拉爾及び哈爾賓に向け引揚げ殘れるは只醜業婦と血氣の男子のみなるがセミヨノフ軍は此の大敗により根柢より崩壞し全然再び起つ能はざるに至りしが過激派軍は滿洲里を去る僅々二露里の所まで押し寄せ居れり其の兵數は一萬と云ふも實數は約六七千にして此の內獨墺俘虜は約二千有り何れも精銳なる武器を所持し居れるがセミヨノフ軍が瓦壞したりとするも滿洲里には約三千の支那兵が國境を守備し居れるを以て過激派が直ちに國境を侵す事無からんと傳へらるゝも或は支那兵にして此の際怖毛附ける際なれば會戰の曉一と溜りもなく潰走せんには勢ひ日本兵の力に俟たざるべからずとて一般に日本兵に期待する所大なりといふ(長春)

◎浴客殺到の 海水浴場 凉しき仁川の夏

萬端の施設遺憾なく出來た仁川月尾島の海水浴場は開場以來毎日數百の浴客が繩頃計つて押し寄する盛況に珍らしい雜沓を極めて居る京仁の暑さ九十六度と云ふ廿五日の如き陸上棲息の人間も流石に遣り切れぬと見ゑ紳士令孃藝者衆行くは渡るは舳を連らねた艀の中は之等の浴客に滿載の有樣

◇白砂を洗ふ浴場に◇

著くが早いか喜々として飛び込む少女の浮環に戲る、もあり小兒の渚に水遊びして嫌がる犬を友連れに飛び込むなど此處許りは暑さ

ケ外の別世界である殊に脫衣場の凉しさ靑葉を渡つて山の麓に吹き下す風は背後の灘を搖かし香りを含む海風は軒を拂つて腰を下せば即ち京味滿堂である若しそれ

◇浴後の麥酒に渴を◇

醫せんとする者あらば脫衣場後方には料亭『港』の出店が赤白のチラシを飾つて客待つ腰掛を淸めて居る裸のまゝに飲まんとすれば手を拍てば聲に應じてサイダーシトロンは運ばる、而も決して價高からず市中の販賣値と同一で提供するから同じ飲むにも有難味が違ふ

◇浴客の便利を計る◇

爲めには設備者で總て損料貸の必要品を備へて居るから五錢一つの手拭ひ一本腰に下げて渡れば猿股あり足袋あり浴衣ありと之を利勉强して提供するから至極便利である仁川は少々都合の惡い事は泳ぐに潮時があるから幾分不便であるが潮を待つ間凉しき潮風に吹かれ乍ら岩が根の島廻りもよし釣に趣味持つ者には

◇就釣などは最も好い◇

銷夏の方法で之あらば早水浴の時間も忘れ勝と云ふ處而も釣道具萬端取揃へて賃貸をするから京城方面から出掛くる者には何の準備もしなくて釣れる譯である尙ほ此の一日の海の遊びをしようとする者は必ず海洲棧橋から乘船する事クが建つてそこに乘船切符を發賣して居る大人六錢小兒は三錢切符を買つてから棧橋に客を待つ赤白の色を配した小旗を翻す艀を目當てに乘込めば好いのである

◎借款反對は 効果無らん

◇冷靜なる中流の商民◇

吉林借款問題に對する長春反對派の運動は旣報の如く去る十七日演說會を開きたる以來今日迄未だ何等氣勢を擧ぐべき集會もなさゞる爲一般民は二十八日開催すべき大會に對し非常に囑望されゐたるも直隷省及び山東省出身の中流商民等は斯くの如き運動は支那人の通有性にて從來に徵するも到底成功すべきものにあらずとて頗る冷靜なる態度を以て餘り注意を拂ひ居らざるが故に日貨排斥勃發の如きは無論なかるべく二十八日の大會も何等影響を及ぼさずと(長春)

◎滯貨片附かんとす

四平街にては一時特產物滯貨巨額に昇り何時荷捌ひとなるや殆んど不明なりしが昨今滯貨も漸く減少し目下七百貨車內外に過ぎず而して配給貨車十七八輛あれば來月中には大略輸送を終るならん而して堆積せる滯貨は雨覆ひ及び敷木を充分ならしめたる爲め雨の被害を蒙る事少きも地上より蒸發する水蒸氣の濕入多く多少の損害は免れざるべしと云ふ(四平街)

◎四鄭線幹部活動

開魯及び洮南驛を實地踏查したる藤根技師長は歸局後直ちに滿鐵本社に赴き又北京會議へ列席したる四鄭局長竹中車務課長も歸來後席溫かならざるに直ちに相携へて滿鐵本社へ出頭したるが用向は延長線問題ならんと云ふ(四平街)

◎四平街に神社

御大典記念として四平街に大神宮社殿建營の議あり其後四圍の事情の爲め延引今日に及びたるが目下の四平街としては此費用負擔に餘り苦痛を感ぜざるべければ諸官衙滿鐵四鄭局及び地方人士の代表者は二十七日驛長室に集會し建營費及び其他につき協議せり(四平街)

◎巧な朝鮮人 生徒の作文

◇內地人の大人も跣◇

鮮人の學校生徒に國語や國文の普及してゐる事は初めて朝鮮を視察した者の何人も意外に感ずる所である、好く聞く事だが朝鮮の田舍で道に迷つた時朝鮮人の子供が居るから一生懸命にウロ覺えの朝鮮語をつかつて道を尋ねると是は意外に小さな子供から『貴郞の云ふのは判らんですから國語で云つて下さい』抔と遣込められる事が往々ある、兎に角鮮人小學校生徒の間に國語即ち日本語や國文の普及されてゐる事は豫想外であつて次に掲ぐる平壤高等普通學校生徒の作文の如きは迚も下手な內地人は跣で逃げる程である(平壤)

◇初夏の庭園

第一學年 盧鎭弘

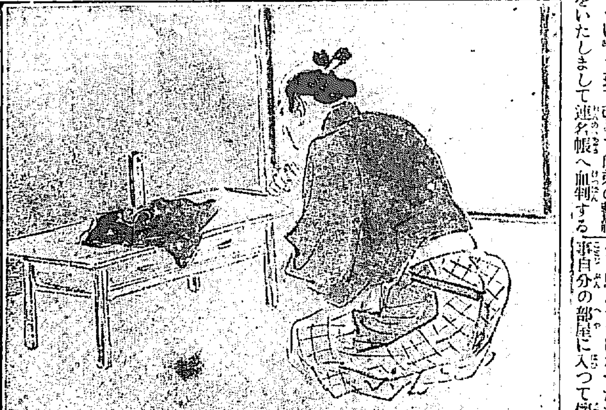
余は詞書に倦んで窓からぢつと庭園を見詰めた。うら若い初夏の光は斜に白く松の葉に遮されて靜かに庭園の上に流れてゐる、花壇の花は色美しく咲き池の金魚は、きれいな水に浮いたり沈んだりしてゐる、ばらに止つた蝶は如何にも得意に翅を動かして居り、雀はチュン〱と鳴きながら枝から枝へ飛び廻る、庭の隅には何處から來たものか蟲がうづくまつてゐる、やがて涼しい風がスット吹いて來て、花の葉や枝を動かすと、ばらの花びらは二つ三つ落ち、ぱつと地に立つ[illegible]

塚原卜傳

第百五十二席 悟道軒圓玉口演

茲で長一郎龜井玆矩の門に入ることになり新十郎が 新『入門の印として一本門弟と立合つて見られるやう』といふので長一郎『然らば御免』と立上がり竹刀を取つて門人を對手に二三本立合つて見せる諸方の道場で鍛へて居るから仲々出來ます門人二三人打込んで了つた、新十郎が 新『仲々の技倆感心いたした、今度は槍を取つて見せられよ』長一郎再たび槍を借受けて門人對手に佐分利流を少し使ひますから槍を使用つて見せます、之れも可成り出來る 新『頼母しい人物二三年修業すれば大した技倆ともならう、怠らず練磨をいたされるやうに』と茲で改めて師弟の誓約をいたしまして連名帳へ血判する

昔は仲々師弟の間柄は嚴格なもので、入門の時に必ず血判をする、血を出してそうして二心ないといふことを誓ひます、だから師は親の如く亦或時は親以上に尊みます師の影は七尺去つて踏まずといふ位、今はさうでない敎師とは物を敎る器械なり、先生といはれる程の馬鹿な面、敎室で先生外で彼野郎、ごうも甚だしく下落して參りまして學校の敎員などは幅の利かないこと夥しい、尤も敎へる方でも一々念なぞを入れて居ない月給だけの學力だから侮られるのも無理はないが昔はそこへ行くと大したもの、長一郎官鼠新十郎の武名を慕つて遙々鳥取まで乘込んだ位だから門人となると一生懸命之れから修業いたします、槍を取つては日本の大天狗、西國の鳳凰といはれる新十郎玆矩、殊に長一郎の將來に望みを囑して、他の門人より一層入念に敎へる、當人もまた父の仇塚原卜太郞を討取りたいといふ一心、口へ出してはいはれんけれども心に朝夕忘れる隙はございませんから、朝は星を戴いて起き夜は月の落つるまで寢もやらず只槍を取り刀を使ひ捨身になつて腕を磨く、其上達が速かなもの、僅三年の月日を送る中に、さしも大勢の門人中此長一郎の右に出づる者は一人もなく龜井の小天狗と人呼んで申します位、師の新十郎も丹精効果があつたと其喜びは一方ならず、槍ばかりではない弓馬劍法、薙刀鎖鎌十八般の事を殘らず傳へました、長一郎は益々怠らず之れを學んで今は何處へ出しても恥かしからぬと師も思ひ自分も思ふやうになつたから或日の事自分の部屋に入つて懷中から小さい位牌を出し机の上へ置いて其前へ手を突き長『さて父上、龜井先生の御丹精を受け漸く一通りの武藝を學び覺えました、此上は豫て大望、貴父の仇塚原賤齋を一太刀恨み、運好くば其場に切伏せ首を取り、父上の妄執を晴らします考へ、若し運拙くして討損じれば、其場を去らず切腹して相果てますが兎に角之から常州笠間の塚原の在所へ乘込みまする考へ、父上にも草葉の影より私の武運をお守り下さいまし』と小音ながら位牌に向つて獨り言折から襖の外でエヘンといふ咳拂ひにハッと驚いて長一郎、手早く位牌を傍なる手文庫の中へ納め、素知らぬ顏をして部屋の中に坐つて居る、スーッと襖を明けて入つて來たのは師の新十郎無言の儘長一郎の前へピタリと坐してジッと面を見詰めた長一郎は見詰められて頭を下げ手を突いて居るとや、あつて 新『長一郎汝方は只今何を申して居つたイヤ何をして居つた隱してもいかぬぞ、豫て其方は由緒ある者、望みあつての修業であらうと察しては居たが只今懷中より位牌を取出して人に知れざるやうに佛名を唱へ猶亦何か物語りをいたして居つたな長『ハッ 新『其仔細を委細申せ、父の仇とか兄弟の仇とかいふやうな者でもあるか、次第によつては新十郎玆矩、助力いたさぬ者でもないぞ』



八月二日 九星 舊六月廿六日 辛己 本命四綠開出

▲四綠 義理攻の事有日新事見合北方は[illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 一寸擔がる丶事有業は妨なし ▲八白 位まけの事有日新事[illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 愉快[illegible]

演藝案內

浪花館

明治町二丁目 電話二六〇番

▲京阪落語浪花會一行 毎夜午後七時より開演 お馴染の當館出演の一座へ更に若手數名加入致し每々御愛顧を仰ぐ[illegible] ▲落語(物まね)遊玉 ▲落語(手踊)遊生 ▲落語(音曲)[illegible] ▲落語(手踊)木鶴 ▲落語 圓洲 ▲大切 花輪 花丸 人情落語 ▲更に浪花節大家桃中軒如風出演仕候 ◎入場料は時に從前通り大勉强

有樂館

早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話(あ七二五)七番

東京小林商會滿洲一手代理店 米國ユニヴァーサル社ブリウバード特作 ◎金錦情話『寄宿生』全五卷 當る七月二十六日より公開

◎自然劇『南方の判事』全五卷 米國ユニバーサル社ブリウバード特作品公開

大正館

櫻井町 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 電話八七三 當る七月廿六日より臨時特別大興行

◎米國ミウチュアル會社傑作 滑稽活劇『チャプリン番頭』五千呎

◎伊太利メトロ會社特作 探偵活劇『獵血騎手』全五卷

◎新派悲劇『生ける屍』全五卷

黃金館

天然色活動寫眞會社京城黃金町一手代理店 電話二六三七、二六六

當る七月二十七日より特別大興行

▲天然色活劇 今井松[illegible] ▲天活會社新派悲劇[illegible] ▲連續冒險活劇『大ダイヤの一』第十一第十二第十三第十四卷

左官建築材料

セメント 石灰 / 硅藻土 火山灰 / 左官材料一式 / 各種色土砂 / 布海苔苆 / 各種塗料品 / 左官用、東京鏝 / 煉瓦用、東京鏝 / 建築材料種々 / 各種耐火煉瓦 / 各種苆類製造 / 煉瓦土管瓦

京城電氣株式會社製 瓦斯コークス 特約販賣 / 九州火山灰合資會社 特約販賣 / 平壤小野田セメント株式會社製 コールタール 特約販賣 / 石灰特約販賣

京城旭町一丁目 電話九八四番 卸商 戶澤商店

社告

七月廿日より京日案內廣告料金左の通り改め申候

普通(前金)七拾錢 番外(前金)金壹圓 匿名(從來通り)每增金貳拾錢

大正七年七月廿日 京城日報社

◎全國文局募集

無資本にて月收五六十圓以上確實 地方と都會の連絡機關にして時代の要求に投ずる好事業 何人でも出來ます來談あれ

東京下谷區三ノ五 マコト社

最新刊

ゲーリー式の學校 田中廣吉著 定價七拾五錢

獨逸を中心に

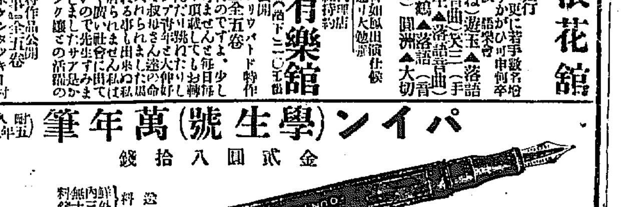
[illegible]

パイン(學生號)萬年筆(五年以上耐久力)

金貳圓八拾錢

送料 鮮內無料 鮮外三十錢

五年以上の生命を前提とするパイン學生號萬年筆は如何なる試驗を以てするも眞の萬年筆たる事を立證する事が出來る



發賣元 京城日報代理部 京城太平通電話構內十八番 振替京城三〇〇番

移轉廣告

左記新築工場へ移轉仕候

仁川府金谷里三三一

大正七年八月一日

朝鮮燐寸株式會社 長電話一五二番

大阪屋號

京城本町 電話一六四・一二〇八・六〇番 振替京城二五七三番

母 ツキ 儀

葬送の節は酷暑之砌遠路御會葬被成下奉深謝候尊名伺ひ洩も有之べく候に付乍略儀以紙上御禮申上候 敬具

七月三十一日 京城府本町一丁目

男 前田統造

前田龜藏

親戚 田中寅太郎

仁丹買方

▲名所カード金言容器付（二貼半入）二十錢
▲四季容器付（七貼入）五十錢
▲徳用包（九貼入）五十錢
▲桐箱入（十七貼入）一圓

提燈の話

提燈の起源は詳ならされど後堀河天皇の御宇（約七百年前）西山の桂海律師が三井寺の稚児梅若を戀ひて同寺の戒坊に隠れ居たるを梅若其坊へ忍び行かんとて竟に魚膠の提燈に蝋を入れて點じたるを持たせ、これを紗窓の軒に懸けて書院の戸を叩きたるよし秋夜長物語に見ゆ魚膠の提燈とは支那にて魚魫燈といふものにて、魫とは諸魚の腦骨をいふよし本草綱目に見えたれば魚魫燈を我國にて魚膠の提燈と呼びしなるべく其製青魚の腦骨を煮和げ打ひらめて火袋に造りたるものなるべし。

鎌倉年中行事に足利成氏が始めて管領の許に行く時の行列を記して「續松二丁、行燈一つ持つべし」と見えたれば足利時代の中葉までは提燈を用ひし事稀にして古風のまゝに續松、行燈を用ひたるなるべし。文龜年中に至りて假頭屋備用に挑燈の名見えたり此時代のはすべて籠提燈なるべし。籠提燈とは籠に紙を貼りて火を被ひせるものなりといふ。北條五代記、甲陽軍鑑等に提燈を用ふる事を載すれは天文天正頃（三百七八十年前）にかけては提燈を用ふる事漸く多く軍用に用ひたるなるべし。一説に永祿天正の頃に伸縮自在の提燈も既に行はれぬといふ。豐公の時に至りて始めて箱提燈を製して上下は藤蔓を以て編みたり。慶長後板を以て是に代へ元祿の末迄専ら用ひられたり。元祿後は巧思を加へ大に美麗なる提燈を製するに至る。

金言

唯一の事實は船一杯の議論と價を均しくす　（西諺）

[illegible]……英國……五十萬噸……の……中立國の……移出せられたる……

一月	二五三四五七	一九四九二
二月	三八八四二二	一九八五五五

る可きも五月中の英國新造高の四……立國の……失數を列記せば次の……月に比較して十二萬八千噸同じく……如し(東京)……三七頓にして價額は五七三七圓……

ウルク戰は正に天王山

△抵抗頑強　最近までの聯合軍の作戰は極めて順調に進展し其の攻勢前進も比較的迅速にしてアソン附近よりウルク河流域に亙る東方に對する攻擊は頗る旺盛を極め一時シャトー●チエリー●ベロー附近の突出部に於て殆ど包圍せられたる敵軍の退却路を壓迫し敵をして或は脫出不可能なる窮境に陷らしめんとするの情勢なりしが二十三日夜より二十四日に跨り獨軍のウルク河南北兩岸の地區に於て西方に向へる抵抗は絕頂に達しマルヌ線戰の友軍救出に全力を傾倒せる模樣にして敵は此方面の抵抗を頑強ならしむるめ約二十個師團の新後の豫備軍を第一線に使用せるが如く爲に聯合軍の攻擊は攻勢開始當初の如く進捗せず其の氣勢も稍や減殺せられたるに非ずやと推測せられ又マルヌ●ヴリニー間に於ても敵の抵抗頑強にして互に相對峙して奮鬪中なるが如し

△今後の戰勢　刻下に於ける聯合軍の最も重視すべきはウルク河北岸に於て西方に對し聯合軍の攻擊前進を阻止せんと努めつゝある攻防戰の成敗如何にして是れ實に戰の天王山とも稱すべく同方面にして聯合軍の進出を喰止め得れば危險にして且つ困難ながらもマルヌ突出部附近一帶の友軍を無事に收容し得べく若し聯合軍の氣勢に押されマルヌ方面突出部附近の友軍が退却せざるに先だつて退却の已むなきに至らばウルク流域及びアソン方面の聯合軍は半押しに東方に殺到すべきは必定にして獨軍はマルヌ突出部附近の獨軍は極めて困難の窮地に陷り幸ひにして退却せりとするも其損害は莫大なるべく或は更に非境に陷りて多大の捕虜を出すに至るやも知れず是る聯合軍の大勝にして斯かる狀況に至らば獨軍は西南二方より聯合軍の猛擊を受け大退却の餘儀なきに至り恐らくエーヌ河附近に後退する迄は再び軍容を整ふる遑なかるべし然れども獨軍がウルク附近の阻止戰に成功しマルヌ附近突出部の友軍を混亂に陷らしめずして收容し得ば敵の抵抗は案外頑強となり聯合軍進出の歩武は恐らく半途にして挫折するに至り敵はソアソン●フエール●ヴイルアンタルデノアを連絡せる線附近に後退せば再び踏止つて其陣容を新にするを得べしと觀測せらる

△弄術の餘裕　本戰鬪に於ける各方面の狀況を綜合して推斷するに敵は當初マルヌ方面以外に於いて本攻擊實行を企圖せるが如くなりしが作戰半にして聯合軍の猛烈なる攻勢移轉に遭ひ遂に聯合軍總豫備軍を牽制せんとする目的を達するに至らず爲に主攻擊實行の機會を見出す能はずして現在に及べりフランダース及びローレン方面の敵は微動を試みたるが大勢に動かし難きを看破しマルヌ突出部の友軍を見殺しにする能はずして目下同方面の友軍收容に全力を傾倒するに至れるが如く觀測せらる而して大勢の推移如何は爰數日後の戰報を俟つて知るの外なしと信ず

郵便切手蒐集　世界的道樂

◇娯樂の趣味に高下優劣の差別あり近來頭を擡げて來た郵便切手の蒐集等は、先づ風上に置かねばなるまい。七面倒な理窟を抱ねるまでもなく、之こそ世界的道樂の一つで、間接利益の多大なとも、効能書の一條りとされよう、そは地理や歷史に關係ある興味を有するからである

◇解り易きを旨として手つ取早く我國郵便切手の變遷から申さうなら、歐米諸國の例に倣つて郵便制度を定めたのが明治三年、賃旅の布告が翌四年の一月に發布されると、其三月に至つて四十八文、百文、二百文五百文の四種の切手が發行になつた、それが抑々の初目である、用紙は薄い白色縞入、又は唐紙様のものを用ひて、黄楊の木に彫刻した版を手刷にしたもの、圖は中央總に價格を表記し、其左右には下方で尾尖を交へた龍を描いて、周圍には雷紋の輪廓が取つてある

◇四十八文のは赭色、百文のは青色、二百文のは朱色、五百文のは綠色で價格は總て黑文字だから孰れも二色刷の洒落たものであつた此四種の切手には目打ち即ち周邊にギザギザがない、入用に際して一々鋏で剪り取つたのである、裏面にゴムも引いてなかつたから、貼付するに糊を用ひなければならず、隨分不便であらう。

◇それから間もなく明治五年には貨幣制度の改定によつて郵券改正の必要が起り、半錢、一錢、二錢、五錢の四種が出來た、以後度々變改があつて今日までには百數十種を算し微細に亘つて差異あるものを調べると實に一千以上の區別がある國家的慶事の記念としては、第一に明治二十七年の大婚二十五年祝典記念の切手が出た、續いて二十九年八月には日清戰爭戰捷記念のため、有栖川宮御肖像入りの二錢と五錢、北白川宮御肖像入りの二錢と五錢の都合四種が發行となり

◇大正五年十一月の立太子禮記念切手までの間に、明治三十三年の皇太子殿下御慶事記念、三十八年の日韓通信業務合同記念、三十九年の陸軍凱旋觀兵式記念、大正四年十一月の大禮記念の諸券があるは誰も知る所、符號入りの切手には縦に軍事の二字を刷出して軍事郵便があるし、明治三十三年一月以降翌年四月まで、在韓國本邦郵便局で賣捌いた切手には、下部に赤又は黑色で『朝鮮』の二字が添刷してある、『支那』符號入りのものも同じ時からであるが、今では黑字ばかりとなつた。

◇何事でも手を著けて見ぬ内は其の趣味の解されないが、郵便切手蒐集の道樂なども初めから心掛けて其道に入るのでなく、色の美しい古切手が裝飾の用になつたり、圖案の珍らしいのが不圖目に留まつたりしてから蒐集慾が兆し、先づ一般的蒐集から初まつて、自國の許りでなく各國のものにまで及ぶと莫大な種類がある處から之れを地理別にしたり、時代別にしたり、額面別にしたり、色彩別にしたり、特點別にしたり段々專門的になる、其上に消印までが關係して來るから、凝つて見ると却々一朝一夕の仕事でない、

◇此道樂は歐米各國特に盛んに行はれ、倫敦や紐育では立派なカタログを發行して年々古切手の相場が決まる位、世界中の同趣味者は二百萬を下らずして凡百階級に亘つて居るが高貴の御方では英國現帝の御收藏を第一に我伏見宮殿下も御趣味が深いと承はる、研究的團體も勿論少からず我國でも昨年以前に組織された郵樂會といふのがあつて機關雜誌『郵樂』を刊行し時々交換陳列會などの開催もある、三井の木村梅次郎氏や柴田常吉氏が此方の頭目で、織田子爵の令息信大氏などは隱れた大家であらう、專業者として以前は銀座の上方屋に指を屈したものだけれど、今では繪ハガキの行者店となつて切手の株は京橋の諏訪、神田の前野、和田、大阪の岡田、京都の大西等が占めて居る

◇時價の高い珍品を擧げて見ると外國には一枚一萬圓といふ珍品た相場もあるが、本邦のを例に記すと、明治五年發行數種中の二十錢切手は紫色で中央上方に菊花御紋章を、下方には桐花御紋章を配して之れを唐草の輪で連結し、其中に縱に隸書で『郵便切手』と記したるものだが、用紙は無地と定まつて居るに極々稀には縞紙のがある、何でも印刷の際に他の用紙が一枚誤つて混入したのであらう、現存は僅々數枚に過ぎぬといふ處から、一枚で千幾百圓とかの値打があるさうな、畢竟稀品、變品は手に入り難いために高價なので、同年の半錢切手には券面左方に和文で價格を表記した半の字が誤刻の結果キの字になつて居るのがあり是等を蒐集家はキ半錢と稱して珍重がるのでも知られる(東京)

書道の話(八)　今關天彭氏談

薛稷

薛稷書、如鶴鵰其千里之志。

この人は褚遂良の書を學びましたが、次いで玄宗の時となりますと、玄宗が字形の豐なのを好みましたから、書界はその影響を受けて、肥つてそして整つた字體が流行しました。顏眞卿や李邕などの書風が即ちそれであります。」

顏眞卿

顏眞卿書、如荊卒稿實而利民用。

顏眞卿は節義を以て顯れた人でありますから、その書風もまた渾厚で、あたかも正しい人のやうだと云ふ評判であります。だが書風に變化が多く、一碑一面貌とて、一碑ごとに一つ異つた面貌があると云はれて居ります。その筆蹟は楷書では宋璟碑、中興頌などが名高く、行書では爭坐位帖が唐代名帖の一つとなつて居ります。」

李邕

李邕書、如詵肥而更拔。

この人は行草の妙手で、書中の仙と呼ばれ、蘇東坡、趙子昂なども、餘程影響を受けて居ります。また米芾は、右軍(羲之)は龍の如く、北海(李邕)は象に似たりと云つて羲之と匹敵させて居ります。」

これ等の諸人と同時代に在つて、同じく肥厚の書風を書く人に蘇靈芝と云ふのがありますが、世間から俗書だとて、評判が好くありません。中唐以後となりますと、書風はまた一變して、淸勁を尊ぶやうになりました。その代表者は柳公權であります。」

柳公權

柳公權書、如關睢擧而有別。

この人は顏眞卿以後の第一人だと云はれて居ります。穆宗が書法に就て下問せられた時に、筆を用ふることは心に在り、心正しければ即ち筆正しと答へたのは有名な話であります。またこの人は力めて羲之の書法を變化させようと心懸けたやうに見えます。」

以上諸人の外に、張旭、孫過庭、懷素などは、みな一代に傑出した人であります。また篆書は晉以來衰頽して居たのですが、李陽冰と云ふ人が出てこの書體に於て技を示して居ります。」

さて唐が亡びて五代となると書界もまた不振の狀態で、僅に梁の楊凝式が出て居るばかりであります。この人は蘇東坡もひどく感服して居たやうです。」

宋代の書界は蘇東坡、黄山谷、米元章の舞臺であつて、唐代書風の結構に重きを置いたのを一變して、主として意態に重きを置きました。然るに蔡襄は依然として唐風を維持して居たが、到底この新流行に抗することが出來ませんでした。」

これ等の四人を宋の四大家と申します。宋一代の書界を通覽致しますと、その最も特色とするところは行書と草書の巧妙なる點であります。

並行線(四十三)　瀧閑村

『あんな方を貰はなくつたつていゝ外にいくらもあるぢやありませんか。』と妹の夏子は、宣太郎が江藤の娘と結婚するのに反對した。『あゝいふ人を嫂さんと呼ぶ位なら、モウ兄さんの處へは行かないから。』と恨んだりしたが、兎角に言宥めて、間も無く宣太郎はおのぶを娶つた。

宣太郎は貰れる限りのものを貰ひ、そして妹聟の眞介から融通して貰つて、形ばかりの家庭を造つた。

宣太郎は邸下で製紙事業を起さうと計畫し始めた。

四五日經つた夕方、おのぶの父の久吾はブラリと宣太郎の處へ遣つて來た。

『入らつしやい、貴郎、父が參りました。』

調べ物をしてゐた宣太郎も出迎へて、座敷に招じた。久吾は家内をあちこち見廻し乍ら座に着いて

『家と云ふものは妙なものでゝ、入る人が入ると家の形をするものだ。』

そこにはおのぶが持つて來た、簞笥や、鏡臺等の調度が、古い造作を壓して浮出して見せた。宣太郎は苦笑する外無かつた。

『時に朝鮮の會社の方は其後どんな感慨か、そしてあんたは何日頃彼地へ行かれるナ』

宣太郎は顏を曇らせたが、答へない譯にも行かなかつた。

『會社は建築も出來て、兎も角も事業を始めたさうです、併し私は都合があつて、京城へは行かない事にしました。』

『ホウ』

久吾は我耳を疑ふやうに

『朝鮮へ行きなさらんとナ』

『ね、。』

『それはどう云ふ都合かナ、折角あれ迄にして拋つてしまつては大分の損だ、どう云ふ話になつたのか知らぬが、行きなさるがいゝ、おや無いか』

不快さうに斯う云つてヂッと宣太郎の顏を見詰めた。久吾がおのぶを宣太郎に嫁れたのも、朝鮮の製紙事業に就て樞要の地位を占めてゐると聞いたからであつた、久吾にすると事業と利益と云ふ事が其人の價値の全部であつた、それを失つた宣太郎は久吾の眼には甚だ詰まらないものに映つた。

おのぶは茶を淹れて二人に侑めながら、二人の話を聽いてゐた。朝鮮へ行かぬと云ふ話はおのぶにも初耳であつた。

『でも貴郎がお斷りになつた仕事ですから、貴郎の外におやりになる方はない筈ぢやありませんか。』

『イヤ私の外にモウ一人ゐるから仕事には差支が無いのだ』と打消すやうに云ふ。

『併し朝鮮へ行きなさらんとすると、どうする心組かナ、此方に何か旨い仕事でも轉がつてゐるかナ、さうでもなけりや、あんたも困るならうがナ』

久吾は遠慮無く追求する。

送人從軍　成田　蒼石

擊筑北望星斗高。草衰一曲氣加豪。禍根須斷蕉荷賊。爲贈吹毛日本刀

學鷗曰、咄嗟吟成、字活句躍

同　大石　松逕

寶鋼方圖沈典存。且應一掃瘴煙氛。扶桑男子有奇膽。慷慨已吞歐亞洲

學鷗曰、詩成忽見氣宇動

同　安東　翠雲

欲君萬里賦西征。欲掃妖氛奏聖明。社稷安危存一戰。深憂顧莫逸長鯨

學鷗曰、詩亦見深衷

同　栗原　華陽

已看腰間劍氣寒。衝天意氣不辭難。裹屍馬革眞男子。只願邦家萬古安

學鷗曰、忠愛之情、溢于格表

同　茂泉　鴻堂

風雲親到捲胡沙。百萬王師惋氣加。把酒勸君須盡醉。英雄從古不思家

學鷗曰、正是壯士髮衝冠之時

同　大島　奇山

胡笳斷續朔邊風。萬里從軍氣勢雄。一片丹心三尺劍。宜揮妖霧奏殊功

學鷗曰、筆勢颯爽

同　江原　如水

君不聞如今朔北邊勞急。投筆請纓事干戈。昨唱折柳餞詞客。今送將軍彈劍歌。門前有聲嘶征馬。今知君揚鞭渡貝河。最想破寨樹功日。提來敵首級幾何

學鷗曰、壯亮

會員募集
造船技術者養成講義錄
講師　前海軍造船技師　鳥山工學士　外十數名
歐洲大戰の影響を受け頓に勃興せる我造船界は技術者に乏しく各造船所は爭つて引張凧の有樣也本會は最新式速成通信教授にて此缺乏を補はんとす本會卒業生は各造船所に入會せしめ講義懇切頗る平易小學卒業程度の學力にて大歡迎
船體科　機關科　各六ヶ月卒業　新設
東京神田美土代町二丁目十一號　日本造船協會

村上浪六先生新著
縮刷　人の垢
たゞの垢は湯に入り石鹼にて流ひ落せど此垢は到底文章を讀まざれば淸潔なる能はず。
三五版天金箔美本函入上等製本三百五十頁定價金壹圓送料八錢
東京日本橋すきや町　明文舘　振替東京一三七五番
京城　大阪屋號

◎大阪造船所新株提供
勿驚今後五期間五割配當確保の有利株
大阪造船所新株の公募成績は約五倍の申込みにして最高參拾圓五拾錢最低拾七圓にて募入され以下は募入外となれり同株の前途好望は架設するまでもなし募入外れとなりたる方及びプレミアム見當附かず形勢を見送らし方の便宜を圖り同株提供仕候間左記要項御熟覽の上至急御申込相成度候但し準備株少數に付先着順に依り取極め申可候
提供要項
提供價格　壹株ニ付參拾五圓也(第一回拂込金を含む)
申込株數單位　拾株以上
分讓豫約金　壹株ニ付金拾圓
送達方法　八月十五日第一回拂込終了次第豫約金差引殘金引替荷爲替にて送達す
公債株式現物賣買　京城府櫻井町一丁目百三十六番地
新田耕市商店　電話長五七〇番一八八一番

診察時間
自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町二丁目(朝鮮銀行裏門前)
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

婦人公論
悲慘なる我國工女六十萬の現狀
婦人雜誌界の革新　八月號
(現代流行の)簡易生活(を排して)肉食(主義を)勸む
先づ我國民性の改造を要す
小品　男若女若
夏の女姿(小説)
教頭の妻の嫉妬の刄
再び與謝野晶子氏に寄す
ホーレスカの獄
定價廿五錢郵税一錢半
東京市本郷區西片町十番地
中央公論社

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城
支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、宮口、傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海
出張所
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

新演藝　八月號
お待兼の新演藝八月號が出來ました。日本で出來る雜誌と云ふ雜誌の中でこれほど美しいのは無いのです。見て美しいばかりではなく讀んでまたすてきに面白いのです。芝居の好きな方はこの雜誌を見ないと劇界の消息に暗くなりますし芝居がお好きでも周圍が忙しくて見られない方や、地方にゐる方々はこの雜誌の寫眞を見記事を讀めば、眼の前に忽ち舞臺が現れます。芝居が好きでない方にも小說を始めとして一讀三伏の妙を忘れるやうな面白い記事が滿載してあります。三津五郎の蔦屋源七の似顏のきれいな表紙です。それをひらくと芝居古畫だの舞臺スケッチだの羽左衛門の兒雷也や帝劇の女忠臣藏の色刷の寫眞を始め五十頁の芝居の寫眞が展開されます。本文には松居松葉先生の小說や鬼太郎先生の劇評それに芝居みたまゝや旅興行の話を始め百六十餘頁が、興味ある記事で埋つてゐます。とにかく賣切にならない内にお買ひ下さい。そしたらこの廣告が嘘でないのがよくおわかりでせう。
東京市芝公園九號地　振替東京一四一七七
一部定價四十五錢　送料三錢五厘　六部前金送料とも金二圓六十七錢
玄文社

“PINE”
一度お試し下さい

愈々書き具合能しとの定評を得たる
萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず
特許既願防破裝置附
繰出式萬年筆　金六圓八十錢
インキ止式短軸　金四圓九十錢
インキ止式實用向　金三圓八十錢
パイン學生號　金二圓八十錢
ビジネスペン(事務用)　金一圓九十五錢
不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕

愈々新刊發賣
大正新一萬句
内藤鳴雪先生　石井石鼎先生　原題句　中村不折先生俳畫　今井柏浦先生編
讀め
最近俳壇の現狀と其の傾向を觀むとする人は
所謂淸新にして餘韻ある句を味はむとする人は
俳句に遊ぶ人是より俳句に學ばむとする人は
此書は最近三ヶ年間に於ける虛子・鳴雪・青々・鬼城・露月・月斗・石鼎・水巴・零餘子・野鳥・蒼羅・蛇笏等の巨星を始め、全國に割據せる幾多新進俳人の近作俳句を精選して本書成る。切に愛讀を祈る。
中判横綴裝幀清雅　紙數四百卅頁
七拾五錢　送料
東京本町　博文館

營業場所及名稱營業項目
營業開始
造船鐵工
弊社儀今般左記造船及鐵工營業開始仕候に付多少に拘はらず御用命を賜り度願上候　敬具
大正七年七月
福岡縣筑紫郡堅粕町字馬出濱
博多灣築港株式會社　電話長一八二番　一六四二番　三九二番
福岡縣粕屋郡箱崎町鯨須(多々良川口)
博多灣築港株式會社造船部
名島造船所　電話二五三番　三九二番(一名)
●木船及鋼船の建造、汽機、汽罐及諸種起重機の製作、修理
●鑛山及諸工業用諸機械並諸種喞筒の製作、修理
●電動機發電機變壓器及電氣計器類の製作、修理

◇沿海州及浦鹽軍隊權掌握

沿海州自治會長及び市長は今後沿海州及び浦鹽に於ける軍隊權を兩者の手に掌握す可き旨在浦鹽日本領事館に通牒し來れりと（浦鹽電報）

◇浦鹽上陸と食糧

浦鹽上陸後の食糧供給に關し浦鹽在留商人は協議の結果株式を以て組合を設けたり（浦鹽電報）

◇支兵北滿直行

浦鹽地方に赴く可き支那軍將校二十名及び兵四百五十名は三十一日北京より來奉直ちに北行せり（奉天特電）

◇チェツク國民的權力承認

浦鹽駐在の佛國領事は本國外務卿より送れる東京經由電報を發表せり同電報に據れば佛國政府はチェツクの國民的權力を認め現在のチェツク國民會を以て將來チェツク政府の前身なりと解決する事を公然承認せりと尚英國も亦同様なりと傳へらる（浦鹽電報）

◎武官長春行

北京英國公使館參事官武官、佛國公使館參事官武官並に英國陸軍將校一行四名は三十一日京奉線にて來奉長春に向け直行せり（奉天特電）

◎文展審査員

過般來詮衡中なりし本年度文展審査員は一兩日中に發表さる可く其顔觸は左の如しと（東京特電）
審査員長福原鐐次郎氏、第一部（日本畫）主任福原鐐二郎氏外十名第二部（西洋畫）主任黒田清輝氏外八名、第三部（彫刻）主任森林太郎氏外七名

◎毒瓦斯射撃

毒瓦斯と喫煙

▲毒瓦斯の研究 獨軍がフランダース戰場に於て始めて毒瓦斯射擊を開始せる以來聯合國側に於ても其の報復手段として毒瓦斯射擊を行ふに至り人道上の問題を顧慮する遑なき狀態となれるが現在進行中なる西部戰場に於ても毒瓦斯攻擊の交換されつゝある模樣にして曩に獨軍の攻擊開始の遅延せるは毒瓦斯攻擊の實行に適切なる天候風向を觀測しつゝありしも其一原因なりとさへ報道せらる列國に於ては尚ほ研究中なるべきが兵器としての毒瓦斯が如何なる性質を有すれば可なるやと云ふに射せられたる液體は到着地に於て少くも一、二日間は毒瓦斯を發生すると共に其發生瓦斯は比重大にして成るべく長く散失せざるものたるを要し而も敵の認識困難なるものたらざる可からず、尚ほ近代的戰爭觀よりせば其發生せる毒瓦斯も兵馬の戰鬪力を喪失せしむるに止まり之を死に至らしめざるを得ば蓋し理想的兵器と謂ふべし

▲毒瓦斯の豫防 現在獨軍の使用しつゝある毒瓦斯は極めて强烈なるものにして聯合軍の認識困難なると共に獨兵自身に取りても識別し難き程度のものなり故に獨軍が嘗に毒瓦斯攻擊を實施せる後步兵の突擊を實行するに當り或は風向の變化或は認識困難の爲め自ら毒瓦斯中に進入して斃死せる者尠からず其後獨軍は此缺點を補はんとして淡赤色を帶びたる毒瓦斯を使用して自國兵の認識を容易ならしむるに努めたるが着色瓦斯は第二回目の攻擊より聯合軍に感知せられ大に其効力を減殺せられたる爲め飜て廢止せられたり從つて現在に於ては毒瓦斯防禦に關し敵味方共に適當なる方法を有せず單に假面を使用するに過ぎず假面の使用も塹壕內に於て敵の毒瓦斯攻擊に先ち之を豫知し得ば安全なるも被害者を出して後狼狽して假面を使用するが普通にして假面を使用する迄に既に尠からざる損害を被るを常とせり

▲喫煙の効果 然るに最近西部戰場の聯合軍中塹壕に據る兵卒にして發黄を喞へたる者は喫煙せざる者より數秒前に獨逸軍の新瓦斯襲來を感覺し假面を着くる暇ありしに他の者は中毒して知覺を喪失し卒倒せりとの報道あり是れ實の煙に毒瓦斯を豫防する力のありしに因るか或は他の原因によりて豫知する便宜を得たるものなりしか詳細の點未だ研究せられざるも各國共に毒瓦斯の豫防に付き研究を急ぎつゝある模樣なれば或は之れに暗示を得て遠からず有力なる豫防方法を發見するに至るやも知れずと

◎古海中將留別の宴

前總督府臨時總長兼憲兵司令官古海陸軍中將の留別宴は三十一日午後七時より朝鮮ホテルに於て催されたり此の夜來賓内鮮官民婦人を加へて二百五十餘名に上り食堂に入り須臾にして古海中將の留別の挨拶あり次いで來賓を代表して山縣政務總監の乾杯の辭あり一同主人の健康を祝し了つて一同後庭に

出で此處に設けられたる幾多の模擬店開かれ野外活動寫眞の撮影あり午後十時散會したるが頗る盛況を極めたり

◎四將軍告別挨拶

松川軍參謀長、立花第四師團長、古海第十七師團長、高橋廣島灣要塞司令官の四將軍は三十一日午後二時昌德宮を訪問李王殿下に對し告別挨拶を言上する所ありたり

◎京畿道稻作良好

京畿道管內目下の稻作柄に就て聞くに幾日の豪雨にて平澤附近多少水害ありたるも道としては問題とする程の程度ならず害蟲の發生も見ず生育至つて良好なり尚一般農民としては此の際浮塵子の發生に豫め注意するの必要ありと

◎日支聯絡團體

滿鐵會社にては日支兩鐵道聯絡日支聯絡團體にして往復共朝鮮經由のものは勿論片途を天津青島上海經由海路に依るものと雖も二十人以上の場合には鐵道院朝鮮線及び滿洲線內二三等に限り普通賃金の五割引となすべしと

◎釜屋少將歸期

豫て東上中なりし釜屋總督府附武官は一日午後九時南大門驛着列車にて歸任すべし

◎松崎博士動靜

入京中の法學博士松崎藏之助氏は三十一日水原を視察し同夜歸京せしが不日滿洲に向ふべしと

◎神保博士出發

入京中の理學博士神保小虎氏は三十日夜汗浦に向へり

◎井崎醫官免官

濟州慈惠醫院長井崎精一氏は二十九日附を以て依願免本官と爲りたり

◎朝鮮產業の本流

蠶繭の生產は一億圓に　井内鮮銀調查局長談

現在朝鮮產業の大宗は米であるが主要產物が米のみでは心細い思ふしても產業の本流とも目すべきものが三つ位は必要である、總督府では此點に大に意を用ひてゐられるやうだが銀行でも怠らず調査は進めてゐる然らばいかなる

▲產業を本流 たらしむるかと云ふにコレは內地並に諸外國とも密接の關係を有し販路に窮せずその生產品は國際的商品たるの價値を持するものでなくてはならぬ此點に於て蠶業と棉花の栽培は最も適當であらうと思はれる、蠶業は大正七年全鮮繭の產額に於て約十五萬石と云ふから石を七十圓と見積つて約一千萬圓であるがまだ朝鮮の大を以てして內地の長野群馬各縣に及ばない所より見ればその擴張の餘地は尚ほ餘程あると思ふ淡たる說であるが予は朝鮮蠶繭の生產額を

▲一億圓位 に增大するのは不可能事でない又此位には達せずともなしたいと思ふさうなつて來れば蠶絲會社の如き必ず方々に企畫を見るべく朝鮮の富の增進は著大なるものがあらう、最近行員の井口農學士は全鮮を巡つて朝鮮產業の狀態を視察したがその結果の大體を聞いても氣候風土の關係より蠶業の前途大いに發展の餘地ありと云ふ唯それには桑の植付けを餘程殖やさねばならない、此點に於て總督府が積極的に奬勵され民間にても相當の方法をとり蠶業の進步を導く位に桑の植付け面積を殖やしたいものである

▲棉花の栽培 も色々傳へらる、如く有望である、南鮮方面の陸地棉並に西鮮方面に於ける在來棉共に尚ほ栽培の餘地は廣い恰も總督府の第一期の獎勵計畫たる棉花作付反別十萬町步も一兩年後には終り更に第二期に移るであらうが本年の如きは原棉の暴騰で十年の移出高五百二十萬圓を超ゆ之れを前年に比すると三百六十萬圓の激增を示してゐる、コレも將來は漸次增加し蠶業に拮抗し得ずとも夫れに次ぐ主要產物として極めて重要の地位に置くを至當としよう予は產業の獎勵を八百屋的にやつて行く施設を惡いとは云はぬ然しそれよりも

▲米蠶棉 とかう云ふ風にその本流を極め積極的に擴張せしむる一方が大局から見て朝鮮のために有利ではあるまいかと思ふ、之等二三の本流が流るゝとことなれば自餘の產業は附帶的に漸次頭を擡げて來ると云つても差支はないと思ふ朝鮮銀行でもかゝる方面には直間接に援助を致す方針である

◎長春より

▲既報の如く二十八日午前九時より當地附屬地外支那劇場燕春茶園にて第二回の森林借款反對演說會を開催したり今回は會衆の殆んど八分迄は地方民にして當地在住民は極めて少かりしが各辯士は例の誇張的言辭を弄して盛んに人心を感動せしめんとせしも何等の影響なく正午前無事解散したり森林問題に對する一般民の態度漸く冷靜となり來りつゝある模樣なり

▲近來露國通譯官と稱する晋某なる支那人西伯利行の苦力として當地方に於て二百名の支那人を募集し居れるが或は苦力といふは表面にて實はホルワット政府の傭兵として募集するものなりとの說もあり眞偽未だ確實ならざるも之が爲め當地に於ける苦力益々不足を告げ賃金の高率なると共に一般非常の不便を感じつゝあり

◎山岳會員動靜

朝鮮滿洲方面視察旅行の爲三十日入京したる學習院學生山岳會員十五名は原金に投宿中なるが三十一日は京城三田會員の案內にて市內を見物し同夜は午後九時より同會主催にて明月館に於ける歡迎會に臨席八月一日朝南大門驛發北行すべし

◎練習所卒業式

警官練習所第二十六回卒業式は三十一日午前八時より舉行古海中將、總監部各課長副官其他臨場し古海中將所長松井警視の訓示あり終つて賞課に移り同十時式を終れり因に今期卒業者は七十一名なり

◎平南郡書記講習會

平南にては來る十月十四日より同廿七日迄二週間道廳に於て鮮人郡書記の講習會を開會すべきが出席者は各郡一名宛にて講習科目は面の指導監督財務を主とし民籍、印鑑證明、民事、風俗改善及び貯金に關する件、勸業及び土木行政の大要、面の收入事務等にて講師は道事務官各係主任其他なりと

◎三井物產仁川出張所長

三井物產仁川出張所長上岐賢一氏は今回木浦出張所長に轉じ京城高野省三氏仁川出張所長兼任となりたるが高野氏は右披露のため二十九日午後六時同地鱗樓に於て官民多數を招待し請宴を張れり

◎天寺中學生退京

二十八日入京仁兒學中なりし大阪天王寺中學校生徒三十五名は三十日午後退京釜山に向へり

◎群山特信

▲輕鐵申請 大阪上田信、大阪上氏等の發企の忠南輕便鐵道敷設權認可申請に關する一切の書類は東京、大阪一流實業家等發起人の調印を了し東京滯在阪上氏より群山大平氏に向け發送せられたるは既報の如くなるが書類は二十五日到著したるをもつて二十七日群山有力關係者等會合し諸事打合せを經て二十八日忠淸南道廳に認可申請に關する一切の書類提出の手續を了したり

▲店員講習 八月一日より群山商業會議所主催と

▲海水浴設備 群山府海面鴨島に海水浴場の設備を爲すに決し八月一日より浴場開始の運びに至れるが其後聞く處に依れば盛航丸の奇數日毎に發する（日曜日奇偶に拘らず）群山發時間は午前九時にて群山歸著は午後九時三十分なり航行時間は一時間を過ぎず鴨島浴場には救護船二三隻を備へ三十坪のバラック建を新設し脫衣場休憩所に當て島內には三四十戶の內鮮民家あり清潔なる民家五六間を選定し宿泊所に供し木浴場の設備驛便所食事より飲食物販賣店を新設すべしと

▲及び有志多數の臨席を求むべしと ▲當日は始業式を舉行し府內店主從業員を慰めるべく（？）

人事消息

▲齋藤作五郎氏（大阪實業家）卅一日夜入京天眞樓へ

▲多田銀七氏（成興多田洋行主）同上

▲南馬之助氏（安東鈴木商會出張所長）同上

鳥瞰雜俎

◎横死獨使の後任は往比加靴也彼は獨逸有數の經濟學者にして辣腕か將又料理人たるか唯の鼠に非ず

◎彼は事實に於て露國の總督たるべく

◎彼は露獨協約成立後東方政策に關する一書を公にして論じて曰く

◎獨逸の印度方面發展は冊策宜しく全力を支那西域及西伯利に注げ

◎西伯利に於て日本との衝突を覺悟し長槍を突入よと傍若無人論

◎彼は今回其所信を實行すべし今後極東の多事は今より覺悟を要す

◎特に對日政策に付く西伯利に突入し鈴は當然日本と葛藤を惹起す

◎但し之に對する政策は妥協的ならざる可らず武力爭は不得策也

◎表面妥協をこり事實に於て經的突入なる處に勢力を扶植せよと

◎論者今自ら露國に任を受く我對露政策に絶大の關係あるや勿論也

◎西部戰は依然聯軍優勝最初貧田振忠巴里入を豫告せしは四月一日

◎而も巴里に一獨兵來ず歐米人は同日を四月馬鹿の嘘吐き日と嘲笑

◎次に六月廿八日は巴里にて獨帝の晩餐會ありと觸れ廻りたる日也

◎最近捕虜の自白に依ば獨軍事當局者は七月十七日大戰終了と發表

◎戰爭に飽し國民は此の休を唯一の力覩として戰爭を繼續し來りと

◎哀れ其十七日も空く經過却て昨今獨軍の連敗倍早氣安めも駄目也

◎滿洲里に壓迫されたる背軍は士氣大に衰微將卒又た戰意なしとか

◎備ふべし彼亦第二の巴布札布たらんとす手に秣貨〔？〕汝何

海水浴場（？）

◎漢城盛夏　服部江南

岬裡休言水骨扇　扇頭勿想北洋情　南山之月漢江水　滿古城

大阪より

▲對印日商勢力 印棉輸出商は戰局後歐洲商漸減を來し專ら本邦に輸出せられ最近の輸出割合は日本八割歐洲一割三分支那七分の比例にして日本綿絲界は印棉輸出の牛耳を握る觀あり試みに印棉大正五年の輸出表により其內容を示せば（單位俵）

日本	一、六〇〇、一九七
支那	一二六、一一二
歐洲	二九一、一三三
諸港	七、六五五
合計	二、〇二八、五八八

即ち日本の勢力は印棉全輸出の八割を占め列國をして顏色なからしむる實狀にして特に本邦商人は其取引の中心市場たる孟買に支店或は出張所を設け盛んに現物取引を行ひ又內地產地に店員を特派し內地直取引を開始し輸入の大部分は日本綿花商の手に取扱はる、就中日本商店は一流の會社若くは商店にして印度市場に於ける一大勢力團たる實を舉げ居るを以て是等日本商店の活動如何は直接其他の市場に影響を及ぼすと頗る大なるものあり

▲石油殘滓暴騰 石油殘滓アスフワルトピッチは石炭代用品となり又アスフワルト用となり頗る重要なる資價を舉げ來りたるが戰前までは殆んど顧みられざりしものが一度石炭より火力強く然も廉價にして石油生產地に過除せらる、事の周知せらる、に至るや各工業家の注目する處となり市價二年前に百斤四五十錢より六七十錢なりしもの二圓五十錢に達し殊に近來我海軍德山煉炭所に於ても精炭法により石炭代用品と採製せる事の判明したるより市價一躍して三圓以上に達せんとするに至れるも石炭會社に於ても先高を見越して賣放さず目下全く亦底なり

▲疊表類小康 疊表類は目下端境時期にて思惑家の手控へに目立ちたる高下なきは例年の常なるが本月中旬以降入荷する新物は原產地に於て肥料高の影響に本年植付は例年の半數に過ぎざる向あり自然新物は高値見込みを免れざる狀況なるが大體に於て本年は平年の三割高を示し目下相場は備後上物にて一圓七十錢乃至二圓四十錢掴みに持合へり月先は新物出廻り時期にも入らば多少の波瀾を演ずべきかと

▲麥類益上向き 正米高び餘波にて雜穀類は引締り仲力ある大麥の本年作は平年收穫と大差なき見込なるも出兵問題の鳴物入りにて氣配引締り上物約三圓高の十四圓五十錢掴みを唱へられ小麥又現今製粉會社格品にて二圓方の上値即ち二十三圓五十錢處を唱へつゝあるが前途尙高見込にて賣手乏しき商狀にあり

▲錫安質母尼好調 金物界の市況は大體に於て一服の商狀を呈せるが錫は新嘉坡品絶對禁止の影響を受け香港、瓜哇物一割乃至二割方暴騰を告げ內地市場には漸次品かすれ爲に從來鈍狀を呈せし氣配も持直し來り目先は本國相場次第にて相當高値を現はすべく アンチモニーは支那入電にて稍高氣配を示し相場は三四圓方の高含みなるが未だ纏りし輸出商談は行はれずと

▲石炭強調 歐戰以來漸次騰貴せる石炭は一時幾分の弱保合ありたるも浦鹽出兵問題の爲め更に強調を呈し現在撫順塊當り二十二圓見當にて強調に比し一萬斤に達し約十八九圓方の騰貴せる勘定商先見越は大變化なきも低落するが如き事はなかるべしと（大阪支局）

◎獨墺と糧食

▲糧食と收穫期 [illegible]ウクライナ方面より補給を得來りしが六月[illegible]より糧食を和[illegible]策として穀物[illegible]千車輛を[illegible]ざる事明瞭となり墺國の民心は空[illegible]の不安に襲はれ動揺を來せる[illegible]の提議により雙方各自に穀[illegible]を廢し爾後獨逸の手に[illegible]のありと

◎海戰隊成る

[illegible]は松花江に沿ふてロラハスス[illegible]ヤック提督部下の海軍士官ならん[illegible]之に關し其の筋には何等の[illegible]所有の一運送船に過ぎざるべく其の武裝も野砲二三門を有するの[illegible]

◎飛降負傷

二十九日午後[illegible]

◎パゴダ公園奏樂

[illegible]

京城電氣株式會社第二十一回決算報告

貸借對照表

資產之部

拂込未濟資本金	[illegible]
興業費	[illegible]
未決算	[illegible]
貯藏品	[illegible]
受取手形	[illegible]
未收金	[illegible]
有價證券	[illegible]
保證物件	[illegible]
銀行預金	[illegible]
振替貯金	[illegible]
現金	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部

資本金	九、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
契約保證金	[illegible]
身元保證金	[illegible]
假受金	[illegible]
未拂金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金處分計算

當期利益金	[illegible]
興業費償却金	[illegible]
差引殘金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
使用人退職手當基金	[illegible]
株主配當金（年一割）	[illegible]
役員賞與金	[illegible]
後期繰越金	[illegible]

大正七年七月

京城電氣株式會社

取締役社長　大橋新太郎
專務取締役　木本倉二
取締役　工學士　白石直治
同　山口太兵衛
同　白石貞基
同　伊藤幹一
同　下郷傳平
右相違ナキコトヲ認メ報告候也
監査役　平澤道次
同　西村道彦
同　萩原源太郎

京日案內

▲▲▲普通一回前金七拾錢（番外一回前金…）▲申込は後拂は願上候▲六回以上の御申込は料金に割引の事 ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

看護婦及藥局生見習至急入用希望者は本人來院の事　仁川　佐藤病院
電話讓受たし　南大門通五ノ一一　齋藤商店　電二八一〇番

外勤社員招聘 希望者は履歷書携帶來談を乞ふ　京城若草町郵便ポスト前入　報國公信株式會社朝鮮支部

讓店 十餘年間經營せる日鮮人相手の質屋殊に將來有望なる場處事情に依り至急讓り渡し希望者は社內荒川へ照會あれ　不得止屋

簿記係若干名 希望者は自筆履歷書携帶本人來談あれ　京城蓬萊町一ノ九〇番　平田運送店

有給外交員募集 數名採用す希望の者は午前中來社あれ委細面談　黃金町十八銀行內　日本生命保險出張所

礦物定量分析 京城太平町二丁目（電長三一四四）　南大門內公論社左横　坂元分拆所

年金恩給 低利長期貸付　四年半迄保險不要　京城永樂町一　商品陳列館前十角　江州屋本店

乾電池 遞信型○鐵道型○陸軍用甲號乙號（野戰用電信携帶電話用）○海軍用一號二號及同特型○鐵道院用○其他一般電信電話電鈴用各種

濕電池 レクランシー○アグロメレート、ブロック○カーボン、プレート○ジンク、ロッド

新式手提電燈（家庭用）

新式自轉車電燈（自轉車用）

輕便電燈（家庭、鑛山、船舶、倉庫、養蠶場、戶外用）

右各種電燈は何れも乾電池を應用し多年の經驗を經たる新製品なり弊社製造乾電池は多年の經驗を積み遞信省、陸海軍、鐵道院、警視廳、總督府、府縣等の指定工場として常に多數の納品を爲しつゝあり又濕電池及其材料は各方面の注文に應じ廣く印度、南洋方面へ供給せられつゝあり又手提電燈類は內外の賞讚を博し多大の注文を受けつゝあり右型錄御入用の御方は御通知次第進呈可仕候尙取次販賣御希望の御方は特約可仕候

東京府千駄ケ谷町
日本電業株式會社

新舊對照

朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

司法大臣　松室致　閣下題字
京城地方法院所屬辯護士法學士　加古貞太郎先生序文
舊韓國財政顧問附財務官　小笠原寬先生序文
法政大學校友　關西大學校友　越智唯七編纂

大正七年一月一日現在 正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵税十八錢 本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるもの一目瞭然にして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮、清、西歷の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戶數、道路里數、各道の廣袤交通、產物名稱舊跡溫泉其他の概況を揭げ

本書は官廳執務上を初め政治家實業家學者、交通產業其他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺く可らさる必携書也

發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

謹啓炎暑之候益々御繁榮奉賀候陳は豫て京城出張所開設準備中の處諸事相整ひ左記の箇所に營業致居候間何卒本店同樣に御愛顧御引立の榮を賜り度此段伏して奉願上候　敬白

大邱府本町二丁目
松前商店
電話長一三三番
電話六六三番
振替京城三五四番

輸入貿易商

京城府明治町二丁目
松前商店京城出張所
電話長二六三〇番
電略（ウ）又（ウ）
振替京城五三六三

出張所所在地　◎釜山本町　◎金泉本町

[illegible]に於ては對內政策上久しく制限を見[illegible]恐ろしくなれるより獨逸は其危急を救濟する爲め目前の危急を救濟するに足ら[illegible]國競爭的に發達しつゝありしが獨[illegible]ナイよりの糧食補充は當初[illegible]の請求に應ぜず其必要を滿たさ[illegible]過激派と戰鬪を行ふ爲め哈爾賓に[illegible]チヤック提督は目下哈爾賓に在[illegible]海戰隊の組織を企圖せるはコルチ[illegible]ば海戰の用に供されたる[illegible]三隻に過ぎざるべしと

◎國に盡すには外交官の外は無い

瑞典へ行く筈の日置公使　瑞典は親獨系で又親日だ　返り咲の日置さんの氣焰

支那公使を罷めて以來久しく無任所でゐた日置さんは今度瑞典公使に任命され近い中に發表される筈である『瑞典は中立國として英佛獨露に最も近接してゐる關係からお互に敵の諜報を取るに最も

◆重要な地　として開戰以來交戰國の劇しい暗鬪場となつてゐると言はれてゐる…『任地には現に內田(定槌)君が公使として行つてゐるのだが是非此際行けといはれるので行くことにした』…斯う冒頭を置いた日置さんの言葉には一概きやつて見るぞといふ色が見ゆぬでもない『日露戰爭の前にはあの國が露國の日本公使館の所轄であつた頃書記生として夏季なごとに

◆時々視察　しに行つたことがある、其の時の僕の印象からいへば瑞典の國民は親獨逸だ之はあの國の歷史上から見ても已むを得ないことで昔から露西亞の壓迫許り受けて來たので自然と獨逸へ頼つたのだ此の結果戰爭が始まると直獨逸は老人や女子供を出來る丈瑞典へ送つて了つたので獨逸の樣子は同國で一番好く分る譯だ、併し一方あの國は著るしい

◆日本贔屓　だ之も露西亞に對する面當からであつたので日本の公使館があすこへ出來たのも日露開戰と同時で當時我國に取つて重要な情報が同公使館から頻發されたのは周知の事實だ、だから日本との關係は一寸面白い工合になつてゐる』併し仕事は却々仕榮があつて面白いらしいが生活丈けは平時の外交官のやうに快適ではなささうだ――『愈々行くと決まつてから調て見ると

◆食料を初　め日常の貨物の不足なのは想像外だヨ、何しろ紅茶や珈琲が一斤二百圓、石炭が一噸五百圓もするといふんだからナ戰爭の濟む迄は居なくてはならないのだが其れ迄にはいくら此身體でも痩つちまふだらう』と布袋のやうな下腹を押へて呑氣に

◆新公使は　笑つてゐる『公使館の在る首都のストックホルムは好い處だ、北歐のヴェニスとも言ひたいやうな美しい水の都で一寸往來を行くにも縱橫に街を流れてゐる、小舟で行く、文化の非常に發達した國民丈に市の建築物など佛國式の壯麗なものだ冬は寒いが夏はよい、』が今度といふ今度は生優しい赴任でないから夫人も伴れず全くの一人旅だ『この職業を三十年もやつて來たんだから矢張り

◆國に盡す　には自分には外交官として行より外にない、一體日本の外交界に人物なしといふ言葉が出來てゐるが、人物がないといふなら外交界許りに限つたことはない、ナポレオンが出た時に佛蘭西の國民が一人一人皆小ナポレオンであつたのだ、カイゼルを出した獨逸國民は一人一人小カイゼルだ日本に人物なしといふなら

◆外交界に　許り人才無しとは意味をなさないではないか一體日本のやうに議會の會期の三分の二以上を政府の外交の攻撃に費す國が何處にある、アレでは外交官が大手腕を振はうとしても片ッ端から打壞して了ふ許りだ』日置さんの氣焰は當る可らざるものがある（東京支局）

◇兩皇子御避暑　九月上旬まで翁島へ

淳宮雍仁親王、高松宮宣仁親王兩殿下には三好傅育官長陪乘原東御附武官、作間、松平、勝司、山內各傅育官、岩波侍醫等扈從供奉の上二十八日午前七時二十五分御出門、八時十五分上野驛御發車、午後三時二十五分翁島驛御着、高松宮御別邸に御避暑遊ばされたり九月上旬まで同地に御滯在遊ばさる、由

◎東宮殿下地曳網を御台覽　＝故伊藤公の別邸へ行啓＝

葉山御用邸に御避暑あらせらるゝ東宮殿下には二十八日午前九時三十分、陸軍大尉の御軍服をお召しになり

◆自動車に　御搭乘入江侍從長、小澤武官以下供奉員一同を隨へさせられ大塚神奈川縣警察部長の御先導にて同縣下の名所として金澤八景の稱ある故伊藤公別邸に行啓遊ばされ十時十分風光明媚なる金澤八景を御一覽になり又有名なる

◆九覽亭に　御立寄りの後伊藤公別邸に御駐輦白菊黃菊を活けたる十二疊の間二間を開け放したる御座所にて晝餐を召されて故公が往年同邸に於て憲法を起草した舊事を偲ばせられ御食後老松老杉亭々たる翠濃き園內を御散歩の後入江侍從長以下供奉員一同を隨へさせられ

◆海岸にて　金澤村催しの地曳網を御覽遊ばされ曳き揚げられたる波間の網に赤鯛黑鯛すゞき等潑剌として跳踊る狀を御覽遊ばされし後、林羅山の金澤文庫へならせられて社寺を御追懷の上二時三十分葉山御用邸へ還啓遊ばされた

▣花賣＝三十一日明治町通所見

◎宇野造船所重役の拘引　社長以下收監

岡山縣宇野町なる宇野造船所疑獄事件に就き同社重役濱口明三は二十八日岡山縣宇野水上署に召喚留置され同社長江馬彌太郎、營業部長川崎繁外九名は同夜收監され又同社大株主高松市縣會議員末澤順五氏も取調られたりとの報あり（大阪特電）

◎聯合軍慰問繪葉書　壹萬枚を贈らんとす　健氣なる神戸各學校生徒

神戸基督敎青年會主事奧村龍三氏が今回聯合軍第二回慰問使の一人として渡歐すべく一行は同氏及び東京の平山陸軍大佐、村良牧師の三氏にて東京に設置し在る聯合軍

◆慰問事業　本部よりの派遣され八月九日橫濱港解纜のモンテイブロ號にて渡米の途に就くの豫定なりと言へり而して一行は紐育其他に一箇月滯在し、新に內地より來着すべき新渡戸博士若くは江原素六氏を待合したる上同勢四人にて紐育を出發、英京倫敦に入り、夫れより白耳義、伊太利

◆佛蘭西の　各戰線を訪ね身を挺して奮鬪の傍に負傷兵を慰問し物質的にも精神的にも大に慰ふ處あるべしと。之が慰問費として嘗て同事業本部に於て募集の結果畏くも兩陛下より一萬圓の御下賜金ありたるを始め全國各地より婦人後援會其の他の名義を以て九萬圓の寄附あり合計

◆約十萬圓　に達したるよりこれを慰問の物品其の他一切の費用に充つる事としたりと云ふ又神戸よりは奧村主事の肝煎にて縣立神戸高等女學校、私立松蔭高等女學校生徒等の手に成る繪葉書約八千枚合計約一萬枚を蒐集したれば之を齎しき聯合軍の

◆負傷兵に　贈るべしと言へるが同繪葉書は二十九日午後三時より同十時迄下山手六丁目青年會館に陳列一般の縱覽に供したり

◎チエックから襯衣と靴の註文

日本の兵卒と同じ品

西伯利に突然現はれたチエック軍は大分人氣者となりつゝあるが先頃からチエック軍陸軍少尉コリミックが軍需品供給係の囑託員リヒテル外四五名と共に日本內地に入込みて

◆秘密裡に　活動し居る中三名許りは浦鹽にある一萬五千のチエック軍と連絡を計る爲めに始終敦賀東京間を往復して居るさうで殘りの人達は頻りに軍需品の註文に奔走して居る而してコリミック及びリヒテルは東京に於ては帝國ホテルに宿を取り

◆二萬五千　人分の軍需品を取纏むべく既に夫々註文を爲し目下製品の出來を待つてゐる其の種類の主なるものは軍隊用シャツ（日本の兵卒が用ゐるのと同樣の品）軍隊用靴でシャツは日本橋白木屋へ靴は千住中組の日本製靴會社へ註文し而して註文を受けた白木屋及び製靴會社はその製造に忙殺されてゐる（東京支局）

◇讀書が何より好きの井戸川三十九旅團長

親類に取込があつて朝鮮への赴任期は定つて居りませんと米子夫人の話し

廿四日附を以て早川少將の後を襲ひ近衞步兵第三聯隊長から第三十九旅團長に榮轉し新に少將に任ぜられた井戸川辰三氏を東京麻布區

◆笄町の邸　に訪ふ少將は近親の者が重患なので殆ど病院の方へ詰切りとのことで、夫人米子は語る『これから私も病院の方へ參らうと存じてゐました所でした二三日來急に大變重くなりましたものですから、主人も聯隊の方へ行かなければならないのですが其の方も失禮してゐるやうな次第です。

◆實は富士　の裾野の演習に二週間程前から主人は參つて居りましたが、陞令の發表があつたからと申しまして廿五日の三時頃に東京へ歸つて參りました。當り前なら來月の三四日頃迄富士の裾野の方に居る都合でございましたのです。

◆平壤の方　へは平時としては參つたことはないと申して居りました。家族は多人數居りますし、子供達の學校の都合もございますから皆んな平壤へ參るといふ譯には參らないだらうと存じて居ります。何しろ男の子が三人に

◆女子四人　といふのでございますから……尤も長女の文子（二〇）は陸軍大學在學中の沼田多稼藏と申します陸軍中尉に嫁いで居りますし長男の一もボつと東京の方で勉强するやうになるでありませう。主人の郷里は宮崎縣飫肥町で御座いまして、これと

◆申す道樂　もなく唯だ暇さへあれば書物を讀むのを樂みにして居ります。何しろ親戚で大不幸取込んでゐるますもんですから、未だ何日赴任することになるか決定致して居りません』（東京特信）

◎木村良假出獄

前代議士農學士木村良氏は選擧法違反事件にて京都監獄入監中なりしが二十八日假出獄の恩典に接せり（京都電報）

◎線路內に寢た罰　三百八十餘圓を攫はる

高陽郡東幕上里の朱周默（四）は現金三百八十八圓餘を携へ七月七日午後四時頃泥醉して龍江面孔德里以下の電車線路內に橫臥し居るを通り[illegible]（三）が線路外に引き出しやりたる刹那右の所持金を探知しポケットより拔き取りて家を買ひ高利貸しをなしゐたる所を京城分隊の憲兵に探知され兩人は此程逮捕取調べの上檢事局送りとなる

◎家賃は果して値上を實行するのか

家主が申合して値上を計畫したが結局夫は駄目だつた

有力な家主の中にも今日の場合値上げに就いて不同意の者が尠くない容子

家賃の値上げをするといふことは強ち家主間に問題になつてゐたが既に相當の値上げをなしたものもあり今やせんとしつゝある時に方つて突如八月一日から京城各家主が一齊に二割或は三割の家賃の値上げをするといふ噂があつたがこれに就いて家主の意見を叩いて見ると貸家を多數所有してゐる梶原氏は曰く『家賃の値上に就て家主連が

◆相談會を　開いたと言ふ事は聞いて居たが私共の方では何も知りません多分お流れになつたんでせう物價騰貴の折柄借家人が此上二割なり三割なりの家賃を値上げされたなれば頗る困るでせう私は現在の借家人に對しては斷じて値上げしませんが新しく入つて來る方には何とか色をつけて貰ひたいと思つてますそれから疊の替ろ何處を修繕せよなどゝ言つて來られる向に對しても家賃の値上げをせない代りに

◆些し辛抱　を願たいと言て居ります』と語つて居た更に森勝次氏方を訪へば家人らしい人が出て來て『二三箇所の借家人に對して値上げした許りですなんでも三好さんでは一割か二割の値上げを通告したさうですが借家人が默つて居りますまい』と

◆打消して　居た三好和三郎氏を南大門外の事務所に訪へば折惡しく不在中であつたが番頭が『借家人が愚圖愚圖言ふので閉口してゐます』と言つて零してゐた

▲三割は慘酷だよ　豈夫そんな家主は有まいが　＝金谷府尹は言ふ＝

家賃を値上げすると云ふことは薄々聞いて知つては居たが家主連が申合せて三割値上を實行すると云ふことは聞いて居らぬ、何處から出た說か知らぬが今頃其樣

◆無茶な事　を言ひ出す者もあるまい、何、三割値上を通告した家主がある？あるとすれば夫は實に輕々に看過し難い社會問題である、一體京城は貸家が拂底して居る爲め他の地方にくらべると非常に家賃が高いと云ふ評判さへあるので此上突飛な値上をされては借家人は

◆益々苦境　に立たねばなるまい、三割の値上と云ふと十圓の家賃が十三圓になる譯であるが諸式の高い此節であるから中流以下のもの殊に下級社會の者に取つては大變な打擊であらう、値上の理由は何に依るかいづれ其邊には止むを得ぬ事情もあらうが夫にしても一時に三割の値上は

◆餘り慘酷　だ、恐らく斯んなことは前例のないことであらうと思ふ、總て物には程度があるもので程度を得た値上ならば借家人も有無を申さず納得するだらうが餘り無茶な値上をすれば借家人は到底默つて居るまい、不平も言へば怨みもしよう此點は家主としては好く好く考へなければならない、家賃が騰貴すると生活上一層の打擊を受けることは勿論であるが、生活が苦しくなる結果は

◆怨ち稅金　の收納に關係して來るから遣り切れぬ、尤も不納者に對しては差押へをする權利もあるがその內情を知つては然う然う法律を楯に血も淚もないやうな一刀兩斷的の措置に出ることも出來ないしこれには殆ど閉口せざるを得ぬ

▣語り物と語り口

始めての聯合納凉淨瑠璃

去月二十二日から八日間壽館で催された各派聯合凉み淨瑠璃は京城に於て始めて催されたことて出演者も多數であり語り物の種類は頗る多かつたが中でも太功記十段目、日吉丸三段目、合邦辻、御所櫻三段目、寺子屋抔は各派から出してゐたやうだ、斯ういふ語り物が素人間に膾炙したものである事は京城に限らぬやうだが耳新しい出し物は無かつた樣だ、語り口も十人十色、各師匠の締も近頃の腕較べであつた、參加した各派並に同好者は次の如し

▲各派　若登會、梅若會、彌生會、鶴鳴會、若葉會、龍昇會、天狗連、孫會、糸玉連、樂同連

▲出演者　登龍、延玉（若山）鬼十、王次、千島、梅若、梅吉（龍山）登勢、三昭、天狗、鈴虎、翠、京奨、若、兒雀、綱々子、十六、園昭、非筒、愛次、千雀、司、秋月、二木、昭助、昭盛、松鶴、樹、卓月、松槃、叶、三木（石川）旭昇、志朶

腦病患者の危機

一年中で夏が一番危險

ハガキで申込次第治療書二冊送呈す

◆腦病の初期は頭痛　夜遲く迄働いた時や徹夜をして勉强した時酒を飲んで夜更しをした時などには頭痛のすることがある。けれ共。頭痛は無理をすれば誰でも經驗する事であるから。大低の人は之を放つて置く傾向があるが、之は甚だ宜しくない。頭痛は腦病の第一步であるから知らず識らずの間にこんな放つて置けば知らずの內に病勢が昂進して眞正の腦病になるからレーベンを服用して身神を安靜にし、心氣を爽快にする必要がある

◆逆上眩暈に注意せよ　頭痛に類似したものに逆上、眩暈がある。何んとなく耳や頰がほてゐたり乾くこともあれば眼が眩むことがある、眩暈のすることがある。之も頭腦の故障から起る現象で、之を何時迄も放つて置けば頭痛と同じやうに、矢張眞正の腦病となる。併し斯る場合にレーベンを服用すれば逆上や眩暈は直に[illegible]地よくなる。丁度雷雨後の青空の樣に頭腦は一點の曇りもなく、晴々となる。

◆神經衰弱の人　は何事をするにも直ぐに飽きがくる人や夜分眼が冴えて眠られない人、或は始終頭腦が重く何事も手につかない人は多く腦病に犯されてゐるので、殊に夏から秋にかけては餘程注意をしないと遂には不治の難症に陷つて生命迄も失ふ樣になるのである。神經衰弱の人は容貌が常に衰へ、元氣なく、優柔不斷にして活氣に乏しく段々記憶が惡くなる。斯る人は直ちに効驗確實なる常持醫學士の發見藥劑レーベンを服用し、傍ら同醫學士の著書『腦神經衰弱療法』を熟讀して根本的に治療するがよい。此書はハガキで申込めば救濟の爲無代送呈す。

◆不眠症と記憶力減退　不眠症と記憶力減退は神經衰弱から來るものであるから、腦神經衰弱、不眠症、記憶力減退を治療するには何うしても頭腦を健全にする良劑レーベンを服用し、直ちに治療する必要がある。本院がレーベンと常持氏の療法に依て無數の全治者を出し幸福なる家庭人たらしむることが出來たのは全くレーベンの發明の顯著な爲で、發行者の尤も愉快に堪へざる次第である。

◆優柔不斷と飽きつぽい人　腦神經衰弱患者の人は一般に優柔不斷で、其癖物事に飽きつぽい。從つて何を行らしても一として纏つた事は能きない、甲に手をつけたかと思ふと、乙に手を出すと言つた風で、始終氣が移り、物に飽つぽい。之れ即ち頭腦に故障のある結果であるから、直ちに健腦劑レーベンを服用して頭腦を明晰にし、心機を一轉する必要がある。レーベンは腦の諸症を鎭靜し、身神を落付け、非常に壯爽にする。

▣憂鬱症と苦勞性の人　人は旅行に散步に樂く暮らしてゐるのに、世には一室に閉籠つて物思ひに沈んで詰りゐる人がある。又一方には詰らない事に苦勞し、[illegible]をして若白くなつてゐる人がある。是等も矢張り腦神經衰弱に罹つてゐる證據で、頭腦に故障があるから斯く物事を氣にし、懊惱しむので、斯る人が心機を一轉して新生涯に入るにはレーベンを服用して頭腦を明晰にし、辨別を明瞭にする必要がある。

▣耳鳴のする人　腦病に罹れば耳鳴がしたりするもので、重くなると聾になる事がある。こうなつては、何をしても面白くもないし、將來に對する希望は全然光明を失ひ、次いで失望となり、落膽となり、遂に絕望の人となるのである。之を思へば耳なりも決して等閑に附して置く事は出來ない、是非レーベンを服用して初期の中に治療する必要がある。

◆夢を見る人　神經衰弱に罹り、身體の非常に衰弱してゐる時には能く寢汗をかくものであるか、寢汗をかくと身體が非常に衰弱し、惡夢にうなされる。寢汗をかいた翌日は非常に不愉快なもので、身體が疲勞する許りでなく、頭腦が朦朧として何にも手がつかないのみならず睡氣を催ふし頭が重く、何を聞いても何を見ても一向に面白くない。顏や筋肉に彈力がなくなり、全く身心が衰弱して自分で自分の身體が解らない。斯る時には常持醫學士發見の靈藥レーベンを服用して身神を安靜にし根本的治療をせなければならぬ。藥價は三十錢五十錢八十五錢一圓一圓六十錢三圓五圓五十錢尚ほハガキで東京銀座弓町二十二番地弘藥醫院中南定太郎事務所宛に申し込む時は常持醫學士著腦神經衰弱療法を無代送呈す

朝鮮法制研究會

縮刷 朝鮮法規提要

▲ポケット形一千餘頁 ▲總クロース函入美本 ▲定價二圓二十錢 送料 ▲特價一圓八十錢 八錢

（內容）憲法、法例／官規／賞恤、恩給／文書、附印／地方行政／社寺、宗敎／兵事／敎育／衞生、警察／財務／土地、林野、河川／法務／產業／交通、通信、氣象

賣捌所　京城太平通　京城日報社代理部　電話長六〇〇九番　振替京城三〇〇番

▲化學用　白硝酸　硫酸　鹽酸

▲鑛山用　醋酸

御照會次第直段申上ぐべく候

京城明治町貳丁目　各種藥品問屋　島久京城出張所　電話一四四四番　振替京城六七七番

鹽干魚　海產物　菓實類　買賣委託販賣

奉天小東門外魚市行　信和魚果棧

日ヤケ ニキビは どうして防せぐか

東京美容院長北原十三男先生は顏や毛について最も古き唯一の研究者であり幾回の海外行により得られたる新知識と日々數百の來院者に使用して實地に成績を現はし絕大の信用を博せし物（說明書贈呈）

類のない色の白くなる藥　確かなる毛生藥　ぬけ毛止

くせ毛、ちゞれ毛直し、脫毛染、やせる藥、鼻の隆くなる美顏料、毛髮料を造る、一切優良

發賣元　東京神田駿河台袋町　日本化粧品株式會社　振替口座東京三三一七番

醇良無双清酒

衛生無害品質無双

發賣元　京城府黃金町二丁目　首藤京城支店　電話一一七一番

釜山港幸町　首藤釜山支店　長電話三四三番

資本金壹千萬圓

頭取　安田善三郎

京城本町壹丁目　株式會社百三十銀行京城支店　電話五八番　城一九[illegible]

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候

爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

妻の心 五十三

九の三　小林蹴月作　武内桂舟畫

目から鼻へ抜けるやうな順吉郎は、今の禮子の一言に依て、到底彼の女を軟化せしむる事の不可能な事たるを悟つた。更に話頭を轉じて、久三郎の身上に及ぼさうこ思つて居るこ、消魂しくも緣先を走つて、轉けるやうに入つて來たのはお俊であつた。

『奧樣、妾、くッ、口惜う御座います。』こ、お俊は、繃帶の額を痛さうに抑へながら、泣顏を歪めて、打倒れたのである。

禮子は勿論、順吉郎も不意を打たれて、膝玉の居場所を變らせる。

『俊や、什うお爲だい。大變歸りが遲いので心配しこつた所です。何處かで怪我をお爲だね。』

繃帶には血が泌んで、加之に仰山らしいぐるぐる卷が爲てあるので、禮子は、容易ならぬ大怪我こ思つたのである。

『……奧樣、くッ、口惜う御座います、妾、櫻井さまに途中でお目に懸つて、敎へて頂いた通りに、招魂社裏のあの狐奴の棲み家を漸こ探し當て、參りました所、案の定旦那樣がお在で遊ばしましたのです。もうもう大變お酒に醉つてお在遊ばしたやうで御座いますが……妾が奧樣の御名代にお迎ひに參りましたこ申上げますが早いか當樣も奧こ同腹だらうこ被仰つて突如お膳の上のお猪口を、妾の此の眉間へお投げ付になりましたのです。その時は、血が流れた丈けで、左程こも存じませんで御座いましたが、歸途にお醫者さまへ立寄つて診て頂きました所が、什うしても四針ほご縫はなくては不可んこ被仰りますんでそれ是のこらに、大變暇を潰しまして御座いますが……奧樣、本統に、妾、今日のやうな口惜い事は御座いません。』こ、お俊は、奧齒を噛み鳴らさぬばかりである。

『まあ、お酒の上ではあらうけれど、旦那樣がお前にまでも、そんな亂暴な事を……何こ云ふこッてせうね。俊や、妾がわるかつたんです。お前をお使ひにやつたのが、わるかつたんです。堪忍して下さい。妾が……妾が、旦那樣をお怨みせずに、妾を怨んで下さい。妾か……妾が、旦那樣は、必ず妾の僞る事をば、普通一通りの嫉妬や邪推の僞めだこ思召しての事なんだらうが……ご什うして、旦那樣には、妾の此の心持が分つては下さらないんでせうね、櫻井さん。』

『お察し申しますよ、禮子さん。町川さんの昨今の行動は眞個本氣の沙汰ではありませんな。……彼こ云ひ……是こ云ひ……。』

こ櫻井は、殿好く合槌を打つ。

『それにしても俊や、旦那樣は急にお歸りになりさうな御容子はなかつたの？』

『什う致しまして奧樣、よくよく旦那樣は、彼の色の白い狐奴に見入られておしまひになつたものこ見えまして、此處半年や一年にはお歸りになるごころの段では御座いません、奧樣、妾などの兎や角申すべきでは御座いませんが、旦那樣は本統に薄情な御料簡におなり遊ばしたもんで御座いますね。妾の眉間の怪我なごは、こりや追付け癒るだらうこは存じますが、旦那樣のお心に喰ひ入つた惡魔こやらの爪痕は、もうもう一生消えおちにならぬかこ思ふこ、妾はほんこに奧樣がお可哀さうで……坐つても居られぬ悲さで御座います。』

『俊や、能く云つてお異れだ。世界中に眞の妾の味方こなつて異れる者は、お前一人です。』

只さへも泣きたい禮子は、お俊が血こ涙こを振絞つての泣顏を見るより、愈々それに吊り込まれつゝ泣く、順吉郎は、側に見かねた風情で、

『禮子さん、俊やもそりや貴女の唯一の味方には違ひありませんけれども、失禮ながら、私だつて貴女とは、眞の從兄妹ですよ。いざ鎌倉こ云ふ時には、貴女の味方こならんで什うするもんですか。心丈夫に思つて居たが可いでせう。』

『はい、そのお言葉丈で澤山で御座います。』こ、禮子は、少し不足らしい聲音を含んで、

『では御座いますがね、櫻井さん貴方には妾の味方こなつて頂くより、母の味方になつて頂くのが幸福で御座いますの。いやいや、あの、それよりもまだ貴郎が味方になつてお遣りなさるお方は、柳橋邊に一人御座います筈ですね。』こ暗に若龍の一件を皮肉る。順吉郎は、默わず目くじら立つて坐り直つた。

◇米國飛行郵便 ◇一ケ月の成績

紐育、華府間の飛行郵便を開始して以來一箇月間の成績を見るこ運搬した郵便物の總重量五噸半、飛行した總距離一萬一千百九哩、時間百五十七時間五十九分、天候の善惡に拘らず一時間の平均速度七十哩、卅三回中廿一回は四時間以內、十二回は二時間半乃至三時間以內に到着してゐる。エドガートン中尉は百卅哩の距離を廿回に亘つて一回の故障着陸もなく又機體の損傷も惹起しなかつた、クルバー中尉は紐育、府間を十三回飛んだが是亦一度の過失も無かつた。其の他ウエブ中尉は十一回キルゴア中尉は九回を無事に二回は途中で着陸をしボンザル中尉は十五回を無事に飛び四回は着陸をし一回は飛行機を破つた、ミラー中尉は十一回無事に飛び、四回着陸をし二回機體を破つた、斯の如く大部分は成功を收めたが然し十二分に飛行機の効力を利用し得たこ云ふ事が出來ないので當局では目下頻りに考慮中で或は郵便代を減少するかも知れないこ

夏の小兒病 乳の飲過ぎ

夏になるこ大人でも諸種の機能特に胃腸が弱つて來るが子供は一層其れが衰へて來るので哺乳兒なごは從來通り乳を呑ましてゐても胃腸を惡くするものである夏季に於ける

▽哺乳兒 の胃腸疾患は總て消化不良こ云つてるが然し一口に消化不良こいつても學問上では之を數個の階段に分けるのであるが極輕微な別に下痢もせず大便が固くて其で如何にも

▽肥れない こいふ營養障害を惹起してから併行失調症に進み更に學問上の眞の消化不良に進むこ茲に破壞期に入るのである其が更に惡くなるこ消耗症こ呼び

▽一等惡 くなつたのが食餌中毒こいふのである食餌性中毒症は普通急性消化不良又は小兒赤痢或は夏季下痢こいつて非常に危險で此處迄進むこ素人では却々

▽手當が 出來兼ねる病氣である尤も輕微な營養障害でも其の因つて起る原因は母乳の飲み過ぎこ牛乳の腐敗からであるが幼兒の哺乳は何こいつても母乳に越したものはない

▽牛乳は 黴菌の繁殖に絕好の物體で少し注意を怠つても直に黴菌が喰入るもので其れが子供の胃腸に入つて色々の病毒を分泌し消化不良食餌性中毒を惹起すのであるから夏季は

▽第一に 牛乳の腐敗を防止し母乳でも飲み過ぎをさせないやうに充分注意しなければならぬ

◇休暇ご子供◇

暑中休暇に子供に對して子供さんのある方にも御勸めしたい事は何うかしてお子供さんに習字をさせ度い事であります▲近來の小學校では習字こ云ふものは非常に輕く見て居ります而して昔のやうに手習ひ草紙に習字をするこ云ふ事は無い、僅の時間に白い紙へ手本通りに字を書くばかりでありますから子供は決して字が上手になる筈がないのです▲字の上手になるのでは無い何うしても手が筆に慣れないのですです夫は昔のやうに草紙、何度でも同じやうに字を書く事をしないからであります▲最も之は小學校でも學生が學ぶべき課程が餘り數多い爲め、習字にばかり重きを置くここが出來ない爲めです、昔は手習ひこ、算盤こ、讀む事だけでありましたが今は之だけでは足らないからです▲併し字が下手こ云ふ事は子供に取つては生涯の損ですから是非共之は上手になつてゐなければなりません其上手になるには矢張り昔のやうに手習ひをする事が宜いこ思ひます▲草紙は子供が書き古した反古を草紙のやうに作つて暑中休暇の間一定の時間を定めて習はせるのです習字が上手になるばかりでなく又一方に非常な精神統一になります

日報俳壇

■木挽き唄■

騎つて下る坂一面の野百合かな　待雷
雷を乘せて歸る雲や湖の村　同
唯廢き砂兵場やはたゝ神　同
雷雨去つて稍を渡る暮風かな　同
山をす扇轉こ標す野百合かな　同
大船を追ふ信天翁や夏霞　春卒
丘上の三角標や星凉し　同
江岸に數の戎克や夏嵐　同
船橋を渡る妓生や青嵐　同
月蝕こ擬ごる數の茂りかな　草雨
掬ぶ手に夏萩の散る清水かな　同
叩かねば開かぬ木戸や蛞蝓　同
講話果て一齊に動く扇かな　同
船の園扇橋の浴衣招きけり　同
溺死者に焚く香煙や雲の峰　同
牛が斃伏す坂の牛車や雲の峰　同
病氣祈禱す田中の堂や雲の峰　公外
乱蒸る草に干しある帆布かな　同
物干に來鳴く蝉や五月晴　宏敍
豆腐屋の鳴らす鈴や夕立晴　同
味噌汁に茄子うれしさよ山の宿　如月
嫁の赤き被衣吹くよ青嵐　同
山添ひ廟の小家や三日の月　鬼
夕汐に乘り來る船や行々子　同
陽の涯に黍零れ咲く夏の山　漢城子
出船盛る港の唄や蚊喰鳥　同
瀧潤れに樹を挽く唄や夏の山　同

新刊紹介（到著順）

▲夏の綺斷（幼年の友附刊）福お伽噺父のゆくへ（雷さんの銀子、稀樂島、蛙とおケラ、金魚のお葬、狐夜の猫と鼠や水際の涼しさうな子供の姿が繪と浮川あり其他夏休みのひまくに子供が紛の手習が出來る朝顔の綺麗な圖案の表紙はお繪手帳とも特別附錄さして添付しあり（十五錢）講談社
▲有燈（西號）非賣品　青淵洲一萊學校々友會
▲天保錢（七月號）名に反して趣歩せる雜誌にて講話、家庭、社會、趣味、衛生、科學、時報、讀物等の記事あり（十二錢）東京神田區錦町三の二　富研社
▲寫眞之趣味（九號）十錢　東京日本橋本町　小西本店
▲黑白（八月號）十錢　東京々橋區築町三の一五　黑白發行所
▲滿洲世界（二〇の七）十五錢　東京神田、代町二〇一大原　鐵道記學校內鐵記學研究會
▲青島商報（一の七）二十錢　青島山東町六　青島鉄商組合事務所
▲名古屋商業會議所月報（二三五）名古屋商業會議所發行
▲滿蒙研究彙報（三十號）非賣品　大連滿蒙研究會
▲極東時報（六八）拂佛文　五十錢　東京麴町區內幸町一ノ五　其社
▲勝友（九の七）五錢　京城本町三の五　○淨土宗開敎院中淨土宗青年會本部
▲獨立公論（八の六）十仙　米領布哇ホノルヽ市マルチヤント街キャンベルブロック三〇（郵函四七四）其社

讀者の領分

▲電話交換手の能率が近頃著しく落ちた樣だ何とか方法を講じ無ければ加入者は遣り切れぬ（一萬）
▲○○會社の某は機械の運轉もろくに知らない癖に小言の百萬遍を列べ盛に職工を苛めるから三百有余名の職工は同盟罷業を數日前にやつた今に反省せざれば內地以來の事をスッパ抜くぞ（老人）
▲本人の伯母よりに借く拂宅は社洞百八番地宮田德官舍前の總督府官舍跡を北進して町上る右側なり御來談を待つ（川添生）
▲私は紙筆の者で能く分りませんが株式に關する『プレミヤム』さ云ふのは何んの事ですが恐縮ですが本欄にて詳しく御敎示を願ひます（京城生）
▲炎暑の斷水迷惑至極です通常不自由の爲め茶の水もなく水道栓を眺めて恨み汗は一層なり其れゆゑ開け放ちの水道栓夥しく恐水役の放水甚しきのは夜中各所で見受くる御役人樣御苦勞ながら見廻りを充分にして放水を止め使用水の供給を潤山にする様御願ひ申ます（飲水生）
▲取り繕ひに告ぐ大なる體形を損へ云々さは何の言草だ大門は未來の大京城の入口としても申し分のない堂々たるもので又他の都市に見ざる所である、醜態なごは美術觀念に對する觀念のない君等の言ふここだ、南大門存廢の研究は少くさも共れ自身の荒廢其の用に堪へざるこきにのみ其の要もあらう（神風達）

○新船撃沈超過 ▲造船能力増加

……せられたる英國並に中立國の噸數を超過す可き事を述たるが……頃の撃沈超過を示し……も首相……本年一月より五月までの撃沈並に新造噸數を各月別に對照せば即ち

	撃沈	新造
三月	三八一六三一	三〇〇〇八八
四月	三二一四五六	二四二〇七
五月	三五六九四	四一二八六
合計	一七九〇六六〇	二七〇四九七

（五月は造船超過なり）

米國の十九萬三千噸を各自増加せる等の趨勢よりせば或は近き將來に此狀態を變轉する事を得べしこ

	大正六年	同七年
一月	四〇九八三二	[illegible]
二月	五七四八五六	三五四五七
三月	六二一六八五	三八四〇二

産地は城津吉州方面なるが……大阪敦賀等に仕向けられ……頗る多し

東洋一

クラブ齒磨本店及工場新築落成記念

八月一日二日三日の三日間

富士山頂に於るクラブデー

三日間に御登山の方五千名まで合計數百圓の記念品贈呈

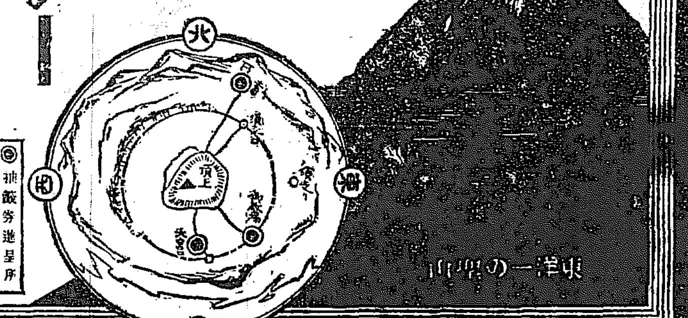
東洋一の化粧品工場たるクラブ齒磨クラブ白粉クラブ洗粉第一工場並に中山太陽堂總本店の新築落成を記念せんが爲め東洋一の聖山たる富士の絕頂に破天荒のクラブデーを開催し八月一日より三日迄の內御殿場口、吉田口及び大宮口より御登山の方五千名迄に各登山口のクラブ本店臨時出張所に於て富士登山記念抽籤券を一枚宛差上げますから夫を頂上の淺間神社前クラブ本店臨時出張所へ御示し下されば引換に左記の記念品を進呈致します（抽籤券御所持の方で風雨其他の事故の爲め三日迄に頂上へ御到着叶はざりし方には特に五日正午迄は頂上のクラブ本店臨時出張所で記念品こ御引換致します）

登山記念品進呈

一等　金側懷中時計……壹個（壹名）
二等　美術置時計……壹個宛（參名）
三等　極上水筒……壹個宛（五名）
四等　流行浴衣地……壹反宛（拾名）
外に　クラブ齒磨一個こ富士登山記念繪葉書一組づゝ右各等に添附進呈
五等　クラブ齒磨クラブ白粉クラブ洗粉各一個宛　富士登山記念繪端書壹組宛……壹百名
六等　クラブ齒磨壹個　登山記念繪端書壹組宛……壹千五百名
等外　富士登山記念繪端書壹組宛……殘全部

東洋一の化粧品工場
（クラブ本店第一工場鳥瞰圖）

靈嶽の頂に立つて東海の旭日を拜す眞に天下の壯快事



◎抽籤券進呈所　▲記念品進呈所

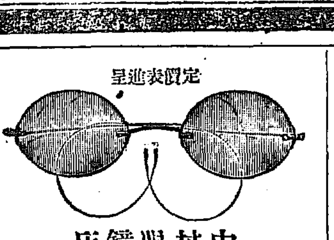
東洋一の聖山

新式魔法瓶
△圓筒形　三合入金二圓九十錢　四合入金三圓三十錢　五合入金三圓

△水筒形　三合入金貳圓三十錢　四合入金貳圓六十錢

△送料　鮮內二十四錢　鮮外四十五錢
京城太平通　京城日報代理部　電話六〇〇番　振替京城三〇〇九番

腕一つスグ其日から　就職口無限　生活安全收入多大
有利の技術を短期に自宅で獨習せしむ卒業の上は就職資格を與へ各方面へ責任を以て就職指導す　學力小學程度　規則見本端書申込め
東京淺草區　日本通信工科學校

定價表進呈

中村眼鏡店　京城本町　電話壹七番・振替京城三四六番

▲にせ物あり御注意▼
りん病　請合藥
ばい毒　請合藥
京城南大門外停車場通　ドラッグ商會南鮮本部
京城黃金町參丁目電車通り　ドラッグ商會支店

釜山出帆廣告
◎元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　七月　日後四時出帆
◎門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　七月　日後四時出帆
◎佐須奈、嚴原、博多行　天興丸　七月四日午後十時出帆
釜山港埋立新町本船取扱店　大池回漕部

日本郵船仁川出帆
◎大連、天津行　相模丸　八月十八日　酒田丸　八月廿六日
×高砂丸　八月二十八日
仁川港町　郵船客御取扱　堀回漕部

大阪商船出帆
△神戸、大阪行（仁川出帆）友康丸　七月　日後五時出
×群山大阪行　安東丸　月　日正午出
◎新浦城津清津行（元山出帆）西湖丸　八月一日後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　須摩丸　八月七日後九時出
◎上海、大連、打狗行（大連出帆）湖北丸　基隆丸　八月十一日前六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行　一年四回　北米行　毎月一回　南米行　一年四回　遠洲行　毎月一回　南洋行　毎月一回
京城南大門停車場前　松原運送店　電話長二七〇番　其他各寄港地に荷客取扱店あり

朝鮮郵船出帆
京畿丸　成鏡丸　平安丸　平壤丸　八月　日　各發
元山雄基行　釜山浦項線　濟州島行　多島海行　木浦鬱陵島行
京城南大門通　朝鮮郵船株式會社

共同汽船仁川出帆
阿波共同汽船　大連直行（關東都督府命令航路）共同丸　月　日後入港
仁川代理店　元山代理店

尼崎汽船仁川出帆
第二大湖丸　下關、大阪直行　月　日後四時出帆
大有丸　八月十一日
仁川海岸通　高杉回漕部